軍に御陪食、実品牌下には五日豊明

行發日九月十 界 未 鈴 人行發 治代喜本橋 人類編 盛武 村本 人剛印 地番一冊可聞公東市連大 社報日洲滿社會式株所行動

藏省の豫算査定 台省猛烈な反對氣勢 内閣重大危機

大窓欄に隠るべく十一月端め陸東大海警後の珠扇が今より出野されてゐる大窓欄に隠るべく十一月端め陸東大海警後の珠扇が今より出野されてゐる大窓欄に隠るべく十一月端め陸東大海警後の珠扇が今より出野されてゐる

黨首腦部で態度を協議

籾貯藏案を講究 得べく最善の努力を属す事

減反案を保留し

減反案は

焦り氣味の農林當局

中 は自昭空旅港の幹地があるので先 で蔵だ窓は後題しさして第一に概 がで蔵だの管理な彫り出題り期に新 からで表

【奉天電話】日本線護士協会より を地の観察を終へ入日観楽を提井 た松井線護士以下六氏はいよく た松井線護士以下六氏はいよく ないます。 ないまする。 をおいて、 をおいて、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

の設備不完全

、吉聯合軍ける | 関こ協力とて繊道建設の資金率の目的のためであるままで課金を表がありこのため流滅では返する者がありこのため流滅では返する。

平を總改

減の 我で最初に京

日頃送達

滿鐵社友會午餐會 命撫順郵便局在動

州午聚會を計員俱樂部第二食堂に 浦織社友會滿洲支部では十一日恆 ▲秋山業郡氏(ハルビン副領事)で店長)同ヤマトホテル投宿・安店長)同ヤマトホテル投宿・水連・

不恐府院のか出入か許し秘密神に飛行場、要家、輕便鍛造の壁腔をなしついあり恰も 米 國 租 借 地 の 親がある歌郷紀の交渉をなら 福 建省 龍 巖 を 中 心 と する 三 十 哩 の 地 方 を 十九 路 軍 戒 嚴 地 帯 さし十九寒年の突厥をなら 福 建省 龍 巖 を 中 心 と する 三 十 哩 の 地 方 を 十九 路 軍 戒 嚴 地 帯 さし十九寒上

各種重要問題

産業界の回復につれて共成動力とアメリカでは無聊された如くに

の方向も奥へられるであらうのが向も奥へられるであらう

ニラと通貨政策

機へ町に新するインド農民の音編 とから展謝されるが、インド代表

●して下級戦人、警官、學生等をピデスの假大統領就任――夏に一

行も米國租借地の觀

部地區は

米支密約による諸施設

(風味)が立たす。 が立たで、こちら立てればかちら、財政

関係の緩縮が閉口

ランス外相ボンクー

?一鞭

と場合初めて軍備の縮小をなす。右期間中遠反の認められざり ケ年間は軍職も行はない代り、 ふので

備均等要求か無数する事になるの る、これは勿論事實上ドイツの軍 さいふ識であ 九尺二間內閣苦惱地大。

を 「うむ、といって ながら、言った。 機におごく してるを ながら、言った。 ちせんかっさつささ、お上げになつ



けふ鐵道部事業費審議に着手 役會議

劈頭より空氣緊張

下さはいへ総理部の査定は様一述びることゝなる 作空氣を示し、事 てこれに関する反駁交も機様名を 以てせ中郷遊都是名を以て順答すること、なつれ、前ち北郷師から なされた抗議交はルデー管理局長 大名を以てきれたもので、北郷から で、北渡立と たる学像郷の名前を以てされるが まここは出来のこいふのが満郷の名 に しての正式の意見であるこ見

滿鐵雇員登格試驗

礟道の眞使命を

民衆に理解され

定な以て就任法學を兼れて事業巡を伴び十日大連出養、二週間の像 事業巡視山內電々總裁

局郵便課長

ての場の光気を見

るさ、植良は

新任警部補

九日警務局發表

九日午前七時四十分着列車にて

さろおどくした際で答へた。 老人は、始めて、自分のやつて

こんな順ぎが持ち上るのです?」 こんな順ぎが持ち上るのです?」 こんな順ぎが持ち上るのです?」 こんな順ぎが持ち上るのです?」 あぶないで思つたのですけれど、

やく、取り離れたを終を取りつく 高子が言つて居る間に、交子は らう立ち上つてゐた。彼女はすば

只此一品 な醫者がス・メル滋養のな菓子 御存知ですか? 版大 批會式徐某製央中 京泉

ホントの品は表面にカルケツトの

(219)

逐信局異動〈九日附〉

っため宇佐美穂局長は顕古 満観本社の豫算審隆

から飛び出きうさした練田夫人だなりぶつかつたのは、今丁度都屋 「いや、その奥さんさではないが のです?この奥さんとなさつたのの検束と言ふのは、離さなすつた

あたが、すぐ耳のそばで、夫人の さらて、気を失つたやうになってをぶつけた相段は、しばらく果然 言ひかけた時 言ひながら、飛び込んで来たの

で、そつさ屋の外まで来てあたの階の騒ぎがあまり大きてなったの

う言ひかけたが、晶子はそれを配子の顔を見るさ、榕波老人は

をない、夫人が、尿に離れて、 まだ口憎さうに泣いて居るそばに 経遊院之脚が、眷続の前もしごけ

太

そしてこの詩曲!

に行弊銀げされ極岡の東さ化 出門、十三年級りに情感機能 、

以下供本、株式自動車車番に

御無深く海巡覧あつて正午近 行客今文戦勢の勝士の遺品を 行客今文戦勢の勝士の遺品を

船中の勝美ご中薗

船路の第二夜を世間話で磨り明して手錠をはめた艦刑事を相手

■が無を剃つてるる時隣宝のドア さポンさ投げ出す、九日朝だ、中

な、映った館と館、一で螺旋な棚中屋

は紫濃酸よりの南州事は天野線 事館繁聚署に移すはずである、な りの合版を読行され午後身柄を鎖 家族を伴ひ

総類出身置口館治外六名は彩版を 自衛移民は治安職立さ共に暴に山 自衛移民は治安職立さ共に暴に山 佳木斯へ歸る 動向なみる目的な以て去月十五日。 兼は武會主義、共應主義の憂慮の 連職合分會では熱河事機の顕彰な

ルピン費は二十一日の像定で

東京で公開する

ハルビン郊外で發掘

日入港のはるび

の野ん鬼で来述するが

流行s秋z級z婦人服z帽子

十日より十七日まで 紬機織實演……三階にて

自程は左の如く

ンモスの牙を

銀行團

行の

日程

丁場放火全燒吉海線の保線

「本天電話」七日夜半吉海線煙筒」「博士旅客の下に砂窓中のさころ今後事員に無事であるが添乗を服事」と、なる後考資料さして直に内地に移ては原業された、急親に接し煙筒」「なる後考資料さして直に内地に移ると、なる後考資料さして直に内地に移ると、なるを表表を表表した。」と、「本天電話」七日夜半吉海線煙筒がある七月ペルピン郊外で巨大な

勇士の遺品を御巡覽

市是訪問、甘养 電影報報第出席 主要機關視察、夜 主要機關視察、夜

關東縣訪問

鹿兒島大島紬

御買上の御方様に粗景呈上)

本場大島紬

主催

鹿兒島縣織物同業組合聯合會

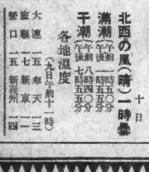
釋然として語る

日の小洋相場全時中

大阪天術橋 大阪天術橋



滋味豐かな傳統的特長と氣品を 場大島紬鹿兒島大島紬は趣味と 場大島紬鹿兒島大島紬は趣味と 地組合聯合會の主催により優秀 地組合聯合會の主催により優秀





兒玉事件の投書を前にして

着に膨緩いてまない、東京流在中間を修動しながら各種事性の職保

上間は座談に巧な男だ

行第六職職を職く外連くは整職所 さゝなった、午回の被替は平康飛 者を避見したので鑑路機局地方科では四部沿線への製液を防止するため一層観密の野菜を終党中のため送つて来たが同部藻院五十名は突通を遮蔽しその系統並に附近調査中である。西山調査底は八のため送つて来たが同部藻院五十名は突通を遮蔽しその系統並に附近調査中である。西山調査底は八のため送って来たが同部藻院五十名は突通を遮蔽しその系統並に附近調査中である。西山調査底は八尾来天電話』七日洗南の南方約二十支里西好力堡に練べスト患者避し八月四半街紙前検査所に検閲

慕ひ合ふ顔と顔

る事を得ずし

語る の事情から高給額のま、引着いで つてるる機様で、それに加御は州の 已むか得す滅結されてある、消滅 減額分を本修に繰入れてあるので 出身社成も同様だが、それは極少 特別航空兵 四洮沿線のペ 十日から舉行

から十四日まで杉山航空本部長統一管舎において新京花倫司法職事よー智は空軍の構統を集めて近く十日したが九日天野線護士は陸軍東氏、東京八日養岡通別特別航空兵流一直に領事館に入り種々打合せなな 職より派遣された 動より派遣された 動は 動線護士の身柄受取りのため 動機 動線護士の身柄受取りのため 動機

東は八日午後七時半列車にて来京市に領事館に入り極々打合せなない。

四日には批雑なる空中とといって空中戦闘、空中射験、空中連 警視廳から

會社が善處に努力

八日午前九時四十分頃大連管内小平島會小平島地郷の大根郷に臨時に建てられた大根書小屋より要大に建てられた大根書小屋より要大

締 り 切 切

十月十二日限り(詳細は本社事業部電話六三四八番へ)本社事業部備付の(多語申)に記入の上申込むこと

日

参加料一小間(一坪仕切)金三圓五十錢也際開家の大蟒評を受けてなります、本年も左郎に依り開催します、暫つて

奮つて御髪加を乞ふ

大連民政署横空地にて開催 十月十五日より十七日まで

房器具展

秋から

冬の

選流行ネクタイ

陳列會

於店內休憩室

解すを弄び

一少女燒死

身柄受取

客名簿に記載しめ、 地は空地さなつて-

看標町で記載し中て人家なく、平野

少年が迷ひ子

情夫を作り 人妻が家出

時頃子供二人を置いたま、家出し フミ子(*)」は先月二十四日午後十

大増加

船底に落ちる

ス製留中の神洋丸乗

田口畵伯個展 十八髪(九六八、八四〇戦) 概範 を形成の本年九月中に於け 職果職海移局の本年九月中に於け



驛警手が奇禍

計温体ミン

社會名會并沒 ETHN本版本日表來

に哨步の体身

合地に蔓延發生

池南 ミ鴻興の附近に

英比中毒 火 野 寅 市 性中毒

 井 醫院內 內 內 九日午前八時三十四分蘇索屯縣警等三本総銀書の貨幣第三七一姚軒 「「概れ右大腰部機隊人事不賞に際 ったので直に継索屯縣に搬き込ま 秋田船川大火

一分秋田縣船川港栗町から妻火も 返品返金自由・古帯道具の

●大好評/曠野の果/後庸・連日滿員御禮●

ら男女が投身

目抜きの場所三百八十戸金塊した アナウンサー試験

郷総能図百十

ころ六十三名の應事者あり、いづはアナウンサー三名を募集中のさ 大連圖書館休館

辛二十七名、女

十四名の総計四萬

開公日

男子戰はざるべ

●サービスガール募集・御希望の方は本人來談下さい● からず 活

中山婦人服宮 H

帝 毛皮大量新荷着 電三一七一番 遼東百貨店毛皮部 の大学、スポン、婦人オーバ、男オーバ裏 正礼販賣、返品返金自由、安心して御貨物が出来ます 正礼販賣、返品返金自由、安心して御貨物が出来ます をと皮大量新荷着



市内敷島町三番地東地鉄一郎氏方の同人駅今野定雄で、12八日午前たれた満電運動を見物に行つたま、100元が選が乗りを見物に行ったま、100元が選が乗りを見物に行ったま、100元が選が上れて関節を見物に行った。100元が選がよりで土地不製内のため選び子の属を出した。

に付勝手乍ら休楽させて頂きます 繁業時間~午前九時開店

世籍代表四一三一番 大連連鎖街銀座通 洋

素晴しい健康見

根を卸した

吹まくる小兒病の 原を尻目に悠々と

はぐくまれ行く

國の名玉石

洋洋行 がつちりと



この秋―冬の流行は茨係統 を主調に 海老茶或は細地 等之に次ぎ、模様は明るく 上品に自由に離出された中 板ものだこの秋―冬の流行

今秋ー冬の流行

英 岡 製三、七〇寸

名薬の畑に

主効

8-A-17

表別、其他別イ小児 ・ 本ツケ、ニエ熊、 ・ 本ツケ、ニエ熊、 ・ 市便、給売ドし、ホ ウソウ、ハシカ、質勝

會

便 小二维用集 1 頁

無代進星 「育兒之友」

大連市

鈴木藤枝女史の

尺八セロ演奏會

サカエ化粧品

サカエ糖の精、サカエアリーム サカエ百

要の待つてゐた生れました人にたか子

來る十一日協和會館

その影が不思慮だつ

の歌の歌りのわばら来、われた水 「私の観交のうちでござんしたら

打ちしめつた沈

興味になって底を割った

さ知つて居り





アビンロコ歌題主み込吹ドーコレ

子かた江入 彦時 田 演主

桂歌中月川野田 八重子

馬逸牧作原・載連日連每大郎一順島青鬱・豐部阿 督監

三津味木々佐作原 浪松男 本山・・督監 (日 主郎壽寬嵐 柄手番五十三帳物捕門右

灯の中の雨風暴篇前

勝太郎物語

こい白面にけた躍活の後最がれこ!場登の門右りつつむり振方久

戀に 因襲 親の 乙女どな に眠る 目覺る 情け は暴風の中 も つた南海 か? 0 灯 子

活字·母型

愈々

日封

期乞待御

质告部軍四四九一 料 吸 鏡眼方處 製調任資

Song of Song 歌凱の戀 贝子 畑 聴け この情熱の歌を

食めたり

には必ず

錠

1

商會 O代 きの

愁 增

0

開

店

周

アラメ佃煮 三四五三 五十十十十 十 五世十十十十 十 銀銭銭銭銭銭銭

の方に限り此券御持参

入場料五十錢

特

別割

日本憲及日本刀の部 十月十日より同十三日まで四日間電午後七時 大連ヤマトホテル〇階入口(市役所版)



コロムビア會社主催 月九日一夜限り

清朝歴代皇帝御筆の部

展

會

延べ特別興行 劇 場

全滿洲警音器商 日本コロムビア蓄音器會社 紺屋高尾」讀切口演 組合 行

お馴染の『

主

の方に限り入場料五十銭 引 券 一名限り

勢甲(浪速 甲角)

勢 至

は

話七七九六・二一 は ブ 付 本 八五五番

シローミ 競臺型提手 -ロン卓上宣傳號 1 乞各 光 有權登錄商標第二四四二一三號 五拾金 器型大・ンローミ オヂラ・ンローミ 覽 流交球五式生再 会社 合資

ヨ (秘密)で 年を迎へ 強 致します 伊 チ 電話四六 五五、四八六九

博多名物水たき

滿洲國商標法。

を示し、期間を指定してこれに常を示し、期間を指定し、推纏の理啦を指定してこれに常

増加である

◆…欠しく空伽にあった輪組職合 会…欠しく空伽にあった輪組職合 会の理事最が前最後期引所信託 整の理事最が前最後期引所信託 整の理事最が前最後期引所信託 をつさふさがった書、新機然 に魅する同館のため先づ以て慶 でやっさふさがった書、新機然 に魅する同館のため先づ以て慶 でやっさふさがった書、新機然 にあったりまで表してもこの程 でできか、それにしてもこの程 との物色に盛分手間が取れたも

朝鮮水

滿洲

水産物

報館水産会では朝鮮の水産物の満 脚における厩舎院様のため一大宣 職館を添造し十五日より左のごこ く各種の催しをなすここになった 十五日より左のごこ

大豆暴騰

券品簿に

産

況元旦

| No. | No

父五平儀豫而病氣之處養生不相叶去る八日平前十一時郷里淡路に於て永眠仕候に付此段生前辱知之各位へ御通知に代候に付此段生前辱知之各位へ御通知に代の護告候也。

十一覧(一郷五厘)の現代学校を表書した。一覧に一十二萬九百二十一百七十萬二千七百覧に「日七十萬二千七百覧に「日七十萬二千七百覧に「日七十萬二千七百覧に「日七十萬二千七百覧に「日本十四萬」を表記した。

にさらは継承から数貴郷由で北 にさらは継承から数貴郷由で北

夏秋蠶收繭

0

五前

分を増加

一割

日浦蘭 能介を内地の 経常で催す

旨を述べる像定ださ

る 日より焼まり新数の出掘りは加 速度等に増加しつ、あるが、仲秋 で新足の比率を増加したではたのごさく新足の比率を増加しているが、仲秋 は近く常識せんさしてゐるく単位

内地各都市で

滿洲市場紹介

情本年の同展整会は京鵬線で経津 のは会くこの結果さ見られてゐる のは会くこの結果さ見られてゐる

五四一一新 九五四五豆

廿三日から四旬の豫定で

異常な激減ぶり

る頭に此の探り

ない。 にはれば日明金融はいまのここ の頭に貼の探り合ひの残ぐ、民間 の頭に出の探り合ひの残ぐ、民間

昭和七年十月より

沿線の新穀

大體順當に出廻る

※沿線の九月三十日現在の年度越 の出趣りた見せてゐる。さらに滿

對支特產輸出は

殆ど杜絕同樣の慘狀

合花落数 生化 計仁生

おりまた。コーカンラス・主人へ当

日

るものご見られてゐる

關東州鹽の將來

英印間の實情暴露

ムラ會商漸次有利

東京九日養國通 シムラ會職に は、東京九日養國通 シムラ會職に

でに交渉な際がするや果然英印館というではなかつ、あったが、飲々質

6觸脈から他能に比して根常一般純の輸出なみてゐる

二港の埠頭作業

に前年度の輸出と比較でれば左腹 の如くで震災の十二萬度減、包索 吉豆の各九千度減、小米の八千度 吉豆の各九千度減、小米の八千度

不村組代行決定

朝鮮運送の大打

合語では十五萬趣の減少さなつて 落花生の四千趣等があるが、結局 蕎麥の八千種、大麻子の四千度、

豆粕の人氣は

七五三一十十段 第第第 月月月月月月初 棉 同回回神 米

川崎埠頭は立派だ 八日歸連の照井

滿郷の特産機械その他襲日本方面氏は總會終了後川崎华頭に於ける 濠洲新貿易策に

商工省重大視

吉野次官を中心に慎重研究

肚の探り合ひ

旬日中に見透しがつく

シムラ會商の現在

最近一ケ年間 輸出雜穀

裏日本

理事長問題で

本 満洲輸入組合総合管理事長は監報の如く新京取引所信託服務にしてフ 長春酸議館賦たりし山中築郷氏にフ 長春酸議館賦たりし山中築郷氏にフ 長春酸議館賦たりし山中築郷氏にフ 長春酸議館職たりし山中築郷氏に 日午前九時より興事館を開催この 協報管を開催するや或は紙上継館に かるやに就き臨時 である。 であるでは、正式決定方法に就き臨時 になる。

□ (100) (100 東新伸惱み

出來高 類近 四十八萬個

爲替相場

中央館

本笠貞之助の演出 大笠貞之助の演出 大笠貞之助の演出 一一つ経算 版由小僧喧嘩日記 脱白小僧喧嘩日記 原本真他滿田中堅連の助演 瀬版公認証落商賣 新版公認証答商賣 後援ビクター

用になるさ御便利で経濟ですードフアン優待ですードファン優待です

竹.明二二日間短期 廖

九日より公開

天國に結ぶ懋二主版 と は に お が 巻

四日封切・料金六十錢 中野かにる・由利能二主流 ナガナ問題の

中服 15元 1500

大同林業公司反對運動 **全滿材木組合大會** 八日新京太子堂にて

十五億斤を目標

依然落ちない

出艦中の同概合善部長縣并長次郎出艦中の同概合善部長縣并長次郎

かある、これは統制間の肥の漁りだが、最に周知の適りだが、最に周知の適りだが、最

普通/姿込四 五〇 四一五〇 大豆(裸物四 五〇 四一五〇 日本高 二軍 日本高 二甲 日本高 二甲 日本高 二甲 日本高 元軍 包 米・出来不申 寛和生産高(九日) 四新

題自體に一つの暗示を奥ふるも のではないかさ思ふ、要するに はに生産せらめなければならぬ を表へられる、川崎単顕は實に を考へられる、川崎単顕は實に で一高噸収容能力あ る倉庫が建てられてぬる、現在 は石炭のみだが追々特重が利用 は石炭のみだが追々特重が利用

□ ける大豆は現在混然 「大豆高な眺めて高唱をせる 大豆高な眺めて高唱をせる 大豆高な眺めて高唱をせる 大豆高な眺めて高唱をせる ため質氣なく関散ながら堅調 を示うで、現在に於では品源に少れて の需要は漸次増大の傾向頻者 の需要は漸次増大の傾向頻者 の需要は漸次増大の傾向頻者 の需要は漸次増大の傾向頻者 の需要は漸次増大の傾向頻者 の需要は漸次増大の傾向頻者 の需要は漸次増大の傾向頻者 に投資する◆内地向の飼料的 に投資する・さいはれ をが採芽監以下では油浸が生 をが採芽監以下では油浸が生 をない、健設さへ安け をが採芽なります。 豆油 八七〇百箱 二五百箱 八七七千枚 四七千枚 四七千枚 四七千枚 四七千枚 四七千枚 定期喰合高 (帳 八)

保合閑散

海外情報は倫敦無塊現物十六分の一安、光物十六分の五安、温賞十六分の一会、※支クロス四個四分の一安、※支系で、温賞十六分の一高。 大英クロス四個四分の一安、※支系で、近次へ、上海標金は七九六元ドタ たい、上海標金は七九六元ドタ たり歩み七九三元丁度、大洋九五 個一七五、神戸日※四分の一安、 窓市が歌は編型變らず開散 を定期前場(単位終) 寄付 高値 安値 大引 期近二三世二三世一人 連期

七九六元一

場

對金票(方數 10% 20 10 金票(現物10次次010次次0

奉天票(現物 五、500

将 先物 45°、60 45°、60 現物 10% 40 10% 40

頁用足袋卸賣 se se 山本洋行 西村家儀奉天滯在中本月六日午後三山村家儀奉天滯在中本月六日午後三山素には第7列を願し来る十日年後四時大連西本願寺時胃潰瘍にて急死致候間此段謹告仕候に於て相管が申候

大利辻

先 撰 155元 1554

大阪期米 中 限 180名 1811 中 限 180名 1811 中 限 1843 1843

綿糸保合

(九 日) (元 1 元) (元

神士は監日同國公園公使了土瀬 第中脈脈の間に於て霊見傾付け ちるゝ最九日御沙汰があつた同 ちるゝ最九日御沙汰があつた同

趙立法院長

石井深井兩全權

で北線がソウエートのものであた近に人事展で影響を開始によって北線がソウエートのものであた近に小歌劇で下脚舞に上のを見られるは、か今時は小歌劇で下脚舞に上のあるまなる鶴標れは次の如と

大蔵公望男震語る

新京特別市政に

東京九日登川道」 長き繰りて は十日午前十一時元井渓井麻会 他に黙しぶを賜り食識の經過を 他に黙しぶを賜り食識の經過を 他に黙しぶを賜り食識の經過を で中には豊明殿で麻気権の外際

松茂治、字佐美皇皇祖、松茂治、字佐美皇祖、人村禄樹、橋本虎、大塚平之助、

大 1028道で自長鐵道の連結監である。 と 1028道で自長鐵道の連結監であるを以て、こ、に首都を関めた 1025年で、 1028年で、 1028年で

況んや新國の施

米區域版に擴大し艦成

ははばならぬ、悪しかというであったが、最近に至りをといっていくば趣聞いたが、最近に一十十百餘戸であったが、最近に至り般性なったからであったが、最近に至り般性なる。とならないはれる、之な変に市臓がしれる、之な変に市臓がしれる、之な変に市臓がした。

荒木 貞夫

満別総置を言長総置の連結監でお 新見はもさ長春線にして土地平

金

壁

東

と公共衛生を促進されば築し成

に響加してゐる、これ極々の原理 つた結果、十二萬六千三百餘人に ひんだ、共後縣遊に至りて肯臣更 のた結果、十二萬六千三百餘人に

のがあった。さ

即ち或は横梁を架

四萬四千人、合訛紅九萬餘人であては城内線四萬六千人、献垣地線

敢て誇るべき

され、ばそれな貴重な案とでれ、ばそれな貴重な案を

日

延長取極

てあるこうな暴露してある。なほ

即編養 新告廣價 定期報行 編結數 至 人人人 所別通 方部 定行行 稅月實

地番一冊可圖公東南連大 社報日洲滿蘇

。日滿に北鐵奪取陰謀あり 用

ンに於ける北鐵蘇聯側幹部の逮捕は北鐵奪取の陰謀にして北鐵賣却交渉を阻害する八日養國通】蘇毗政府は去る九月二十八日駐日ユレニエフ大使な通じ殿田外標に蘇し 譲渡交渉にも言及

國をして同鐵道財産を沒收せしめることが必要であると述べてゐると表礎として滿洲を報告し北鐵に對する個人債權者を動員して債務支拂の要求を爲さしめ之を基礎として滿洲能なることを述べ同經濟に手入れし蘇戰能的逐縮を決せる愈變の內容を標準して居りなほ九月九日附の二總告語では、礼等演課の成行変刈軍司令官に宛てた報告書と稱するもので有によれば九月四日附親告書中において劉鴻東市会館は北籔湾戦の可変計を要表した右の内三通は菱刈開東軍司令官の外務省に宛てた報告書、殘り一通は日本領事の政治を要表した右の内三通は菱刈開東軍司令官の外務省に宛てた報告書、殘り一通は日本領事の立法論と日本常局が右陸議を中止せれば蘇聯政府は此の陰謀を曝露すべして脅迫銃撃戦な気にたが八日夜遠に日本幅の極極報告を轄すると挑議し日本常局が右陸議を中止せれば蘇聯政府は此の陰謀を曝露すべして脅迫銃撃戦な気にたが八日夜遠に日本幅の極極報告を戦すると

好悪なる宣傳手段に對し夷だして憤慨し蘇側に送った謝告なるものは桑然接受したる事質を書換し題に對し我外務常居は先づ蘇政府

るを得すさなし近く蘇側の資意を聽くさ共に縁者を促さんて決意す るに至った

と紙幣留の比價

一錢五厘 の適實性

はいてもとが野蛮が相互に継い後にあるが ・きげより譲渡侵権を施定づけるに於て は結局左郎の如くールーブルと宣 に於てもとが野蛮が相互に継い後のと に於てもとが野蛮が相互に継い後のと で、満洲崎のニトに ・後五甲換策が相互に継い後のと ・きでいてもとが野蛮が相互に継いを必定 ・きがいてもとが野蛮が相互に継いをのと ・きがいてもとが野蛮が相互に継いをのと ・きがいてもとが野蛮が相互に継いをのと ・きがいてもとが野蛮が相互に継いをのと ・きがいてもとが野蛮が相互に継いをのと ・きがいてもとが野蛮が相互にといてもる。

行話りの状態にある、即ちばが更に抽車なかけてほドの

ン 職代表の影響に基主要が関格ルン 開代表の影響に基主要が一般主流を関う譲渡 世格影響以来既に三ケ月を經過し で、大日第一回正式意識を関う譲渡

ツの重線に對する低本政策を契約した公式號用些を要表し戦績平向のた有代表一行のベルリン出資に際しドイツ常居は重ねてドイ向でた有代表一行のベルリン出資に際しドイツ常居は重ねてドイ龍龍代表軽騰大便ナドルニ以下代表一行は八日ベルリン籔語称に

部會並にこれに引縮き開かれる一般委員會に出席すべきドイツベルリン八日發國通』九日から愈く語解に無開される軍権會議

したきにつき之が韓旋方なお願ひしたして製計し来たての報告が開する環佛の意見の相違監につき指摘するため佛代表で直接順會につき指摘するため佛代表で直接順會に、 できナドルニイ博士は米國首席代表デザイス氏に黙し塹艦問題に には絶對に調印しない事を重ねて聲明するドイツはその主張する軍備均等の根本原則を無視せる條約の類等機に對する確平たる主張を更に力談さた

軍縮會議好望 「ワシントン八日景岡通」九日よ

不可侵。を考

會商は軍権問題の側端なる解決に對し非常な可能性を磨す

開催する共産軍が優勢

た機能だけで終るらしい

國務省に到達した之に對し米國官通では行

大大学、九月の宋頃廬山からさるものおり、別に記住事が 別表展に起ち總数五十萬の 別表展に起ち總数五十萬の 別表展に起ち總数五十萬の 別表展に起ち總数五十萬の 別表展に起ち總数五十萬の が上述を には孫文末で 大栄朦朧の妹れる關係から御大勝 には孫文末で 大栄朦朧の妹れる關係から御大勝 には孫文末で 大栄朦朧の妹れる關係から御大勝 には孫文末で 大栄朦朧の妹れる關係から御大勝 には孫文末で 大栄朦朧の妹れる關係から御大勝 には孫文末で 大栄朦朧の妹れる關係から御大勝 には孫文末で 大栄朦朧の妹れる関係から御大勝 には孫文末で たったの大人栄美齢が実が取りの演奏 には孫文末で たった。 たった。 には孫文末で たった。 たった。

國民政府實施

明年三月以後に保留の見込である
四年三月以後に保留の見込である
東京總監部本部送の師願起輸出、
を指し、本のでは、小磯鵬東町多課送、全協
の中緒の東京整備中会で統一等は

氏は五・一五事件を中心こする批 で、大田曹太氏は駐政問題か、流田園標 業な、内田信忠氏は國年間にな、大 り日比谷公會堂に降催販干の聴衆主解時原批判派談會は九日正午よ ショ粉除を目標さした政友会 日比谷公會堂で 入せらると物品の調税を据置く、育議期間中日印兩國は現に輸

印度棉花市場

軍。備。均。等

ドイツ

聯合軍を徹底

想待してかられるさ思ふ

取頭 部四善田安

外用薬デ

ラピア

チール酸グァヤコール剤

膜-肺-氣管支炎

、第一着手さらて農民に對し格 ・、第一者手さらて農民に對し格 ・、第一者手さらて農民に對した。 ・、第一者手さらて農民に對した。 ・、第一者手さらて農民に對し格

第五次共匪討伐

掛聲のみか

巧妙な共産軍の對策

北支派遣部隊 漢支した第○○暦の第一九日後國通』北支在留邦

東京驛着凱旋

局所に展布するのみにて患部に深く滲透し、病菌の

活動を減殺し、鈍痛及び劇痛は短時間内に消退す。

後九時半東京縣着 八〇脚打十日

を緩和し、過剰熱を除去するため、患者をしてテラ内服薬の如く胃を害するの憂なくして……咳嗽刺戟

展布により自覺的に非常なる爽快さを得せしむ

一、浦獺在航三總統がに新任を見た。 東京より避れて左の通り決定した。 東京より避れて左の通り決定した。 東京より避れて左の通り決定した。 東京とは、第一年の本に禁じ、 東京とは、 東京とな 東京とは、 東京とは 東京とは 東京とは 東京とは 東京とは 東京とは 東京とは 東京とは 東京 ソ聯在勤領事

の地方さ相通じてその勢力拔くべ さなり、陝西、甘樹、青海、新疆

るものわり、殊に討伐軍が

でスクワ在戦を命ぜられた野 五日東京發

に於ける喀痰の減少を見る。 ピアの展布により疼痛去り、安眠を得せしめ、且つ翌朝 とのに劇痛を訴へ、そのため睡眠し得さる如き場合テラ

て經過は迅速に可良に赴くを見る。

の後貯溜すること少く、貯溜するも漸減し、體溫も減じテラビアを一日一回づゝ交換することにより、多くはそ

濕性肋膜炎の如き、滲出液の多き場合は先づ排水して後

あり、総々廉砂路上掘り行路の艦
大河泥漑して汚滅に堪へさるもの
大河泥漑して汚滅に堪へさるもの 正書記座は緒方總領事で共に夫々 縣參事官會議

し現在に至るまで修築送すのものした、前ち大同元年七月より養正した、前ち大同元年七月より養正した、前ち大同元年七月より養正 は大同元年度名庫による行政費さ に大同元年度名庫による行政費さ が総乗及び交番の集登等に購する が総乗及び交番の集登等に関する が総乗及び交番の集登等に関する 事前会議において開催する無率天衛公器において開催する無

もたド酸地域大腸路、二腸路圏以前においては道路稍平坦 更に市紙について述べるさ、地 外務省より發表

輸出を統制

日支關係の好轉を

では、なは同様は速力爆電機能量において現在世界の凡ゆる種類に において現在世界の凡ゆる種類に

非營利會社

いさ、なほ同様は悪力製能職際は一切いて何れの風にも劣るこさがないて何れの風にも劣るこさがない。

希望するは當然だ

蔣公使神戸で語る

助のため一大非然和食品を設立する記述なる旨を堅明したが研究と

次の救済を兼ね生活必需品市場際 がエルト大統領は難にシカゴに於 がエルト大統領は難にシカゴに於

日本側の對印回答

出來得る限り

米國大型飛行機

三千三百哩を一氣に翔破

優れた米空軍偉力

込むこと少く、良く安眠を得せしめます。

微の如く甘いから喜んで服み

本月末ブ市で本月末ブ市で

についても其體的回答な遊げる方

の前側でなるさ注目される満路水 の現場より重視されてゐる と東京九日養園通 満路庭接受法 の総行艦問題が試験されるが満路 となるさ注目される満路水 の現場より重視されてゐる

小見のせきに

ナミッシッ

百日咳には特に良効があります。普通の咳嗽は勿論のこと、あの頑固な ち、一瓶を御常備下さい。 號です。……輕いせきを輕い内小兒の咳嗽は呼吸器病の危險信



社會式株 町本區標本日市京東

一山口十助氏談山口十助氏談

(新京電話)大同學院第三回卒業 「成は十三日午前十時より覧媛子同 「成と常に於て襲行、来賓さして日 「成と常に於て襲行、来賓さして日 「成と常に於て襲行、来賓さして日

大同學院卒業式

勢いを盛り

滿洲商議聯合會

提出案審議成績

合館における各地提出勝繋の微鬱で、一般騰された第十七回滿洲融騰職

推 離過減 法實行 方要望の件、密輸取締 に馴ら 要望の件、高洲國各繼道運管統一並に

か、つたため一時は朝鮮機管師の設計は単頭橋内ヤードおよび騒響にの一部が戦緩監督課の散設に

實行委員會 電報料引下げ

議は九日午後二時より國務院會議

志館所原識説

國務院會議

のさころ十二時に至り市の都合に 対して九日午後三時より原館の智 かして九日午後三時より原館の智

る用意を有つが今回の對策の如る用意を有つが今回の對策の如る用意を有つが今回の對策の如めが見ばするを得りませばるを得りませばるを得りませばるという。

に非公式に示され

上は同志食発性の膨

【新京電話】今秋日本において行 はれるわが腰取接腕大蔵智の常況 に配めの葉に浴すべき痛州風側の大 に変天常野備司会官設立紫粉薬、 温龍江着野備司会官設立紫粉薬、

もあって、日本の主張に希望があ もむやみに横頭を押すわけでもな しむやみに横頭を押すわけでもな しむやみに横頭を押すわけでもな しない。

日本間にも近点に製造な影行が出て 本た▲五根製造に何だか怪しい霊 を登ら、軍部其他の各省と大概。 であるの間にも低気暖盤水の売あり

綿糸强含み

滿洲國大官 大演習陪観の

にて外務省から公表になった▲十 のは既報の適りだが、就々九日附のは既報の適りだが、就々九日附

大引

与提議の結果。

羅津築港設計

た世でも問題の成行を重視し十日 透所でも問題の成行を重視し十日 を検三時半より根認語は際で大連 本材架者を集め需要者より管備を 本材架者を集め需要者より管備を をしている。 を表する。

大連市域の織、中央師覧市場の維れは経近に至り「郷人性覧人に上場棒総報といふな、監督管職においては本案に對して大性誤解を乗べてゐる模様で、定く指顧を整定、監督管職においては本案に對して大性誤解を乗べてゐる模様で、定く指顧を開始した。所職管職四十中、市の競を放送して手打するものと継続されてゐたが、個別を監督を建る。一般に從來一分六厘だつた性質人歩戻しを二分に地率する」といふ経過で、定く指顧を開始を建る。

か開始する管

曹達工業の講演

103 多く増加と一千八百萬海臘順に楽 を大位は現度から輸入増加五百萬 中華民國で七五 の立 海鵬順である、大いで輸入減少せ の立 海鵬順である、大いで輸入減少せ では正定して中華民國よりの輸 では三千二百萬海鵬順の数減を来 においては済州盟国の影響 等の減少である。た がして大位はソ際の一千百萬海鵬 所(三割短)の減少である。た 既に要配はないては済州 かして大位はソ際の一千百萬海鵬 のである

次はソ職の三千

滿洲國の

一十七十二海職所の減少を示してある、輸出入貿易の減長につき貿易にこれをみるに先づ輸入 個において日本よりの輸入は最も で、1000円のでは、1000円のである。1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円の対象がある。1000円のでは、10000円のでは、1000円のでは、10000円のでは、1000円の

がいて最も減少せるは がいて最も減少せるは がいて最も観光であ

周海関南を減じ次

るが市場がこんなことになったるが市場がこんなことになったのは我々の奥り知らね世話料間でもなだ。そして今更齢が見ても世話料の延長さらか思けれるのは無理である。我々明政会のは無理である。我々明政会のは無理である。

九萬九千八百七十一海關兩の減少

百萬の減少の順位であるが共に三千四百萬、

對外貿易

二回)もいづれは機を見て楽替へ、一受る六分修五千萬國を観念する第二十二百萬國を現金戲讀する第二十二回、第三十二十月中に五千萬國を鬱替へその他十月中に五千萬國を鬱替へその他

滿鐵豫算會議續行

探院と清殿の際記念部を承認した

"大同林業=問題

大連商議でも協議

巾場問題危機

『上場斡旋料』に對し

市會の反對氣勢

活無國外國貿易統計公表に九日城上 法所國外國貿易統計公表に九日城上 大同元年度貿易總(古古山十六萬九百九十 大同元年度貿易總(古古山十六萬九百九十 海陽順でその内調左の如し(単位 海陽順) 内國品輸出 50°857.50 内國品輸出 50°857.50

満鐵の新規社債

二千萬圓見當

特殊企業の後

に來るもの

代しながら流洲の炭質が安く

は極めて複雑になつて來る。 は中間な折衷するか等々、問題 は中間な折衷するか等々、問題

を見ればならね。 随つて内地の

◆去る日午後一時新京在住の知人

にもなり、又佛の真の供養にも 花であらう、これこそ郷像費用

、野熊は同じく中華民・野殿についてみるに滅りを示してゐる、 たが一般が左機など

言要項部級の上(此間 別にて一枚一段。二枚 別にて一枚一段。二枚

でならたるにも摘らず、吸めて 同係官吏の再放査を受ける定義

養食も嫌れず値かばかりの品数 れず(この間一回も検査など) しつゝ午後二時半に

の間所要時間まる一日で半 「奉天電話」 登浦殿村の戦代機能 を扱ふため駅砂部では繁栄を研究 中で、瀬田税務司長は九日來奉、 中で、瀬田税務司長は九日來奉、 中で、瀬田税務司長は九日來奉、

◆定期(單位十銭) 路 柄 當 限 先

上に解来の影例を貼してはいか明白であり、こんなここで市政権
をいかってはなってあるのは 順公

立石保福氏談

日夜七時丗分者列車で米連の筈売間海軍燃料廠長・目下浦洲各市の吉岡海軍燃料廠長・目下浦洲各

開東廳辭令(九旦)

特旨な以て位一級被進級正四位 学野みつ子

岡野助役談

關東歐通信書記

目の

部が精巧な防水装置に

ら水砂原等の使入する

で耐久力は他軍の一

温保(袋込四三三〇四二五〇大豆(裸物 111110

大連府信濃町市場 本

第一

後四時二十分大連(日清生命新京出張

氣配變らず

蓋謨製造會和

日本記に重税がの戦撃され

課せられること

各紙

四女洋子儀豫で病氣の九日午後一時半大速病院を付此段謹告候也に対比段謹告候也 連病院に於て死去致候病氣の處療養不相叶昨

小羅倉紗









doy of サ椒ラ子 ヨ昆ビ リ布卷鏡 ヒラ 各 二九八四五五五八 〇〇〇〇〇〇〇〇 兵花 A ラ大大オ昭 丹見ヂグ鬼戸ナア アアロビアアアラ ララーーラララレ レレ豆豆レレレ 珍 五八四四六五〇六五〇〇〇〇〇 品

救済策 國農村

新東小巾往來

市

六四五

五品弱保合

豆低落

三三四後

三三九〇五

式小奶部轉廻全 製鐵鋼

マルワイ号

の三車名に御往意下さい

山口の自轉率は各廻轉

際はマークと 際はマークと

日滿文化美術協會(東京) 大連ヤマトホテル階入口 至午後七時) 四 口

清朝歴代皇帝御筆の部 日本書及日本刀の部 H 同 十三日まで四日間 (数三百五十)

畵 展覽會

(ヤマトホテル滞在)

消費組合賃金

000000000 えも七七七七六六六 0八六四二〇八六四 レヌルカチワカコワ

(信濃町新屋調べ) 仕立賃

百貨店賃金

九〇〇

打名帶長木合古 糯

(大連三越調べ)

跳べて見ませう。

の冬物仕立賃

召山11-110-111-00

講習所賃金

1-110-1-四0

◆女物長着、羽織共

大羽和錦 檢 羽 初 織

授産所賃金

秋冷を感じ、急速に冬物が無き

市內各方面

◇…色調は 春ものの延迟

選塔のほごりそゞるご適選びぬ 変和し忠霊の塔 要和し忠霊の塔 要和しまする我れにして)

て来た傾前があります、大陸におっ年のをのショールのモード……

が多くなりました、緑酸の脳原で かってぬます、洋製の影響が多分に つて機総・ 格子、市標さいつた機

忠霊塔の夕暮

不足で食べ過ぎになり胃腫なさきつこ風邪明きます、始終。

選不足の状態によってお母さんの 選不足の状態によってお母さんの 運が続いものです、間食が過ぎて を事を擁ちず楽賞不良に関らねや ではありまん、お子さんの運動の ではありまん。お子さんの運動の

今年は毛皮が

飽かれ氣味

地質・色合共に薄く

今冬のショ

1 ル



お母さんの責任 なるべく三寒、四温を利用し

はいかにしたら風邪で親まず健康に育たるか冬の鈴水たさうではありませんか風邪引き易い満洲の小児たち て、萬病の因され 戸外運動を奨勵

よく拭いて置くこと、さべ

切口に磨粉をつけて、平らの板 海日特選 春戦

りだ分意味のさしたものゝ方がおりだ分意味のさしたものゝ方がお

ないます。ひごく汚れた場かます。ひごく汚れた場

連 JQAK

れるや

ではスコッチの壁り脚ではスコッチの壁り脚ではスコッチの壁り脚ではやはりフラ 延長を見せ幅を利かせてあます して昨年の お値段はウー

、熱湯にミルクの神

"花嫁美"は

お仕度の御注意

田口省吾畵伯十日かまで満級社員倶樂部で

フライ鍋 日のやうに

四三金迄の局面]

へました先づ實物を店頭で 概論總 本回 說篇

我日本民族の生んだ文化、藝術は世界的に如何なる地位にあるか。我々はその特異の文化と、その精神とを深めない。實に非常時日本は、日本そのものの剛壯、高雅なる本質的精神をシックリ體得し、確實に我民族の血と肉る本質的精神をシックリ體得し、確實に我民族の血と肉を我民衆の手に取りもどして全國民衆の歡呼に浴びた。本社は嚮に「日本文學委集」を刊行して特權階級の文學を我民衆の手に取りもどして全國民衆の歡呼に浴びた。本社以來或は「短歌講座」「現代短歌全集」「俳句講座」等なも刊行して文學の全面的に躍動貢獻を遂ぐるところがある。 新藝術の一大醞飯に役割を遂ぐるべきを豫め所期するもず藝術の一大醞飯に役割を遂ぐるべきを豫め所期するもであるばかりでなく、荷くも我民族の將来に思を寄するであるばかりでなく、荷くも我民族の將来に思を寄するであるばかりでなく、荷くも我民族の將来に思を寄するであるはいでである。一大記録を記し、文壇全野の權威を動員して組成せることとを對象とし、文壇全野の權威を動員して組成せることとを對象とし、文壇全野の權威を動員して組成せることと

改

よ二此堂々たる執筆者 新詩文學篇 句文學篇

第三卷 物語・小說篇 日 民族文學 概論總說篇 和歌文學篇示 和歌文學篇(上) 隨筆日記篇 七卷 國文學空前の偉容!! 第十二卷 第十卷 大正文學 治 曲

理化學用器一版實際 大連市恵比須町以十八 電話大連六九四番

度学 日東樂化學研究所

東京市芝區三田邊衞町電話一次幹

防に絶對權威

る新

時代は去れり 食料品容器に鉱力罐の 自動機械吹製 ジャム、ツクダニ 蜂蜜用瓶各 会式族子硝洲満南

司

大連府信濃町市場 電話四四五七番

厚

運輸

20 大連市山縣 通り 沿線各地の御用命は 最寄店所 … 部険

演;

天然の良港雄基港

数年間の素晴しい發展

北鮮鐵道沿線素描

居るとは、一般である。「他であった。」というでは、「他であった。」というでは、「他であった。」というでは、「他であった。」というでは、「他であった。」というでは、「他であった。」というでは、「他では、

開設の要望さ

一日來奉直に新京へ向ふ康定

安食三郎氏

海域合に間が とて

た いから能し行力を施ました健康学せ べ在中現金三百六 で す男を共に吉林方底に配達らした 前借二百七十八個人で内地橋大送し添れ歩き 無な 如く冷やかに何度 人で内地橋大送し添れ歩き 無で手配中である 原で手配中である

フェーより総二百五十回の徹金を (100の服名はまを九月廿二日午後八時頃同居 龍井村第六届歌書上村の東カ 磐線・玉田(三)

- 外科競技の就木一郎氏は同方館 (統治刀主衆に三指を属する場合であなかったさころ郷大着佐野 平壌の遊戯や両手も匹敵する現在原料、皮膚科製門さしては完備 同博士の修興総裁十字の原属手、原料、皮膚科製門さしては完備 同博士の修興総裁十字の原属手、

泌尿器科を新設

輝く日隈小兒科部長

被召集歸休兵の爲

金一千圓也を寄附

【書林】総像の税正に離ならんさ しいの原意総議る税風に腕されて人姿 次は次は

と渡端した形跡あるので当 中本年四月頃口輪の果装は 中本年四月頃口輪の果装は 中本年四月頃日輪の果装は

人妻、藝妓の家出

當局に頻々捜査願ひ

奉天に奇特な美談

關東廳旅順醫院

東左の如く宮渡した 産利勧四耶 再(浦線) 内山 汚耶 新(市) 中川 清次 新(市) ・ 東(市) ・ 東(市)

昌圖地方委員

ははなる事になるので鑑賞さしては、
対対のである、関に本年報まで調査とします。
中である、関に本年報まで調査とします。
中である、関に本年報まで調査といるない。
中である、関に本年報まで調査といるが表 はその変化であるさされてゐるとはその変化であるさされてゐる人で、また前島氏は人

の結果左の如く問題とに

【妻天】 影銀のよい滿洲に於て一 紫着の膨電斑織りを行つてゐるが な地がけようさ新熊滿州を目指して 最近疾にインチキ醫師が設置し自 神郎 かけてゐる・整変をなら市民に迷惑 等インチキ醫師が設置し自 神郎 ので奉天響では之等インチキ醫師が設置し自 神郎 ので奉天響では之等インチキ醫師が設置し自 神郎 かけてゐるものが多くなつて來 を繋拾した これ かけてゐるものが多くなつて來 を繋拾した これ なかけてゐるものが多くなつて來 を繋拾した これ なかけてゐるものが多くなつて來 を繋拾した 撫順地委

満洲國の法制改革

急いだら失敗する

珍客を迎へて

宿舍の惱み

産金調查除員ご鐵嶺

が 『華天』日本総護士協会より派遣 されて油州各方面を熟訪する一方 選士以下六氏はいよく〜各地の視 法総・終の為来流して居 た だ 特別 を方面共新機の意氣に燃えて来 常な活氣を感じた。東は日本の領事 とて特に感じた事は日本の領事 とて特に感じた事は日本の領事

观察後松井辯護士談

種馬所視察

四分割卵車にて肺縦の途についた局長同行入日午後三時三十分東門 (金米)金融飛続言ノ後に戴て敷 とた小磯多謀是は副東殿日下内弥 とた小磯多謀是は副東殿日下内弥

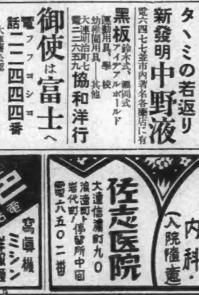
岡田忠彦氏

直ぐ

| 神経痛・リヨウマテ・痔疾 大物堂 石松石七郎 大連市透坂町町町十番















錦州領事館廳舍

次いで會計版音員二名の選舉に選一の各職製部選・操作品

鐵道工

事入札

逮捕さる

縣の强盗

中島議員

議長當選

(四)

満洲景氣に 乗じて

朦朧營業續出

無許可開業で市民に迷惑及ぼし

奉天署彈壓に着手

は、「機関」去る九月十五日午後十一年報集順級南海地峡人脈付方を翻り 中子無線集度表(こ)(六日小鷹屯に 一方に強盗吸人、海殿脈第一區古城 が大て小林巡査に連掃された

個に不日公入札の 左側通

大れる製造ないが照明 を回これが吹製 を回これが吹製

組預金 るが実施時間は毎日午後一時よ左記により二十五日より質前で

和服 裁縫見智 委綱面談 磐城

を受くべき者は第一期、第二

利子引

金州金

黄衣 表

きかいや電五四三七番 郷間 用

二二六四五番

裳

女子 店員数名募集

卸出立衣裳

大連四陸町さかい本店

用品賣買

電話三九七一番

貸衣 表

日隆町運送商天電話六八四一番
・ 大他側不用品は他店より
・ 特別高度優全まで
・ 特別高度優全まで
・ 特別高度優全まで
・ 大地側で用品は他店より







金融を発展

西公園町六九 高科督院

地金銀自金

洋服類奮裝 たちゃ

人無者

2に (葡萄酒を

佐々木洋行

在婦人科

質 大々的従出勉強 大々的従出勉強 大々的従出勉強 電話八六七五番 電話八六七五番

モミ治療お望の方は

安東高女創立記念式

瓦房店射擊會

大徳の飛行場で催された、この日 時十分からは十年の飛機騰震を重慰安運動會は七日午前九時から北 治安維持等順次進められたが同十十分の場合、「一個大学の場合では、「一個大学の場合では、「一個大学の場合では、

新揭載 現代小說

岡田三郎

理解基で市民大連調査を開催する 連解に展用関係が無限が行はれる 対処東では観必器の技能・線和會 支部の後援でサニ日の日曜東央子

關稅引下げが 唯一の密輸防止 明光中である、之し観 全浦商議聯合會に出席し

に運転する者へで見ず

瀬之口會頭歸安談

成績左の如し

瀋海奉山線でも スを運行 鐵路總局にて研究

【漁師】 波順高等女際夜事十六回題上運動会に八日午前八時半より **藤高女運動會**

奉天北斗遂に制覇 の善戦も空し つた戦いの味左の如し 益 全滿軟式野球戰

645298371 勝山井勝樺石三軍大

速陽,四平街,

メをは

野ったが小製校選手十六校の販売の返還式あり九時より

霊見の開館の

對鞍山陸上競技會

丘の上で大奮戰

錦州飛行隊の運動會

ゆる爭覇 奉天滿洲國側競技會 0 が三十八型で像勝し父中等學校順の工作の型ででは第二工科中學校が二十四型で を會長さする満洲号道聯合會主流等が 通号道選手権大會は竹甲浦線理 会会長さする満洲号道聯合會主流 選手權大 全滿弓道 年の神経の一条の一般を一般を手段を開発を表している。

はは糸検査所を

東に設置か

福井、岐阜兩縣業者來安を機に

實業部に設置要請

後藤映範 型山少尉の人物

全國民の熱讀を期待する!! 中の秘記と秘話を以て埋めたものだ。 に容易ならざる苦心蒐集にかるる 心の波 青話= 石 L'A 或 暴風就難 たるを誇 は如何に猛烈を極めてゐるか、見よこの實狀!我國民は荒木特に を看る 田弘 新 白 一 香 一 牧逸馬 するな 1 五月十 **新掲載** 大角岑生 ▲南洋の

部特派員九日發」聯系の

だはすまじですよ」さ洒落か上陸 に感慨は無いかさ音へば「臓 にのではないが、配着が上陸

罪多き二人に

裁きの日は迫る

し、頭に同地北方新家屯にも一名 名と防疫戦戦名を同地に派遣した 表る五日以来高家店にて七名死亡。 大東北方に移動するかの傾向わり、 吉林省公署では六日醫師三 次東北方に移動するかの傾向わり、 吉林省公署では六日醫師三 大藤線さ農炭東方は益々運延の兆 大條線を農炭東方は益々運延の兆 大條線を農炭東方は益々運延の兆

性へた勝美と中菌

非常時の意氣込

若人の聯合演習

十三、四兩日水師營で

子ははやる心を押へ膨て膨し合せ 一日さて忘れたここのない男より の來速を解へる手続に接して、気

(可能特便影響三角)

堰かれた戀路を死で解決 の職等の思いで男の腕に身を挟いた如く七日午前八時職友人の窓に

泣き崩れる

純真など女への愛感に聞き切れず

三越の話

た伏せ後は何な際いても答へ」が傷つける魂にざんなここな場き」だらうのでません

補俱二勝す

警察官の異動

本日に限り

午後六

對京鐵第二回

年後四時十二分より

を 日任官された三十五名の新任勢部 神を配し更に巡査部長、巡査緩よ

本警務課長さの間に協議が進

女白浪逮捕 所に置いてわる荷物を取締めた

三回に重り同 大連神社の 來る十月十日 大連神社の 來る十月十日

9

大蓮寺御會式 町日蓮宗大蓮寺では宗都

許特等等

(農比場町電牌前) 大連端町鉄井に 大連端町鉄井に 大連端町鉄井に

ホワイ・ ウャスキー



房のナンバーワンさして皆様の御學接後合、御披露、御着附の爲め衣裳部屋



八日贵

トイツ

方天野氏は市内二三 名、鷹二名、鷹鼠敷名が從事鼠野事館響終襲にて東 の人鼠は未だ決定してないが頼いて上端の財職が強えそれに理事官の人鼠は未だ決定してないが頼いて上端の財職の財職である。別 以衆に婦人デ

一時から四時までな一般民衆デ

うさ、歌まかりの歌

業知識普及に 工業博物館で開催

てゐる山城 るさいふので、來る十

海員審判 來年度よ

保險魔

話】北熊羅津を舞脈に

新義州の轢死體

は坂上

はこびさなつてるる機な状態で変かれまり海負担合その他より要望されまり海負担合その他より要望されまり海負担合その他より要望されまり海負担合その他より要望されました。 版と概念とし、 「関東州のみが何時までも非合法」 はこびこなつてゐる機な規能で変 はこびこなつてゐる機な規能で変

されたやうに襲い自

天野氏押送

朝鮮經由で

翻究署立石巡査部

日午後十時新京發

で追悼會を懸むさ で追悼會を懸むさ で追悼會を懸むさ 白川家不幸 市內沒速町

はるびん丸 京城遠征中の 十日午前九

社選動記者宛 の通信に吐く 福無但樂器中

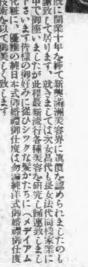
いけない、これは頻能線特急弾・シートカリ、関の頭が駅振しては上たかり、関の頭が駅振しては上たかり、関の頭が駅振しては一たかり、関の機の形が形形して来たのに扇の

洋洋般變變陰



店

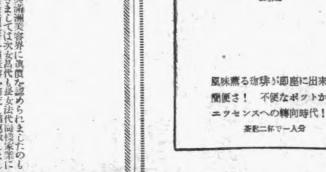


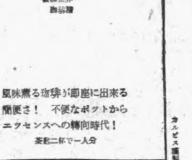












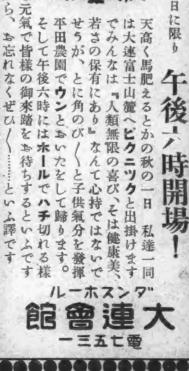
3 洋門四

英 影響の一種

から、お忘れなくぜひ~~~~~といれら、お忘れなくぜひ~~~~として年後六時にはホールでハールでの事職をお待ちする 英和タイピスト學院

中用使(器索探贴灸)許特

生徒募集



DHOK

青空

ホテ

ル

(6)

は一所に製売を始めた。 第一に自みの矢を立てられた那 第一に自みの矢を立てられた那

娘物言うた(☆)

するさ或類、三輪が電車から降

盡

「生さやい。そんなよしかつてあ

探がいて振返った。 いのあ

高血壓の時

腦溢血豫防の秋

動脈を軟らげ 老體を護る

ても御馳走にはわりつける。第

らうその手、駄目だらう。あん 三輪は「そら、來た」と思ひ日下網系中で」

一幢は縮みあがつた。

劑製草

巻き治林州に造詣深き小島の特別士

治淋劑の權威

内服館側の併用

糸はフ

趙山 前通

五・一五事件 五・一五事件 を整い値頃除から辷り落ち 印度詩村會議 ・地画海軍備張 ・大速艦ホテルも出来る下心 大速艦ホテルも出来る下心 大速艦ホテルを出来る下心 前に致け 立派な色

新来特許 No. 109311 新来特許 No. 174169 新来特許 No. 123583 恋匠登錄 No. 55071

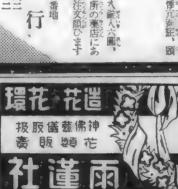
定压登錄額 No.

る。もかし、選見さんは三輪の悩

ら何だか雲行きがわるいぜ」

は葬給がおぼつかない。そこがなければ不興を買ふ。不應を買って

天高く駿馬の三 天高く駿馬の三 五・一 川柳時事吟 計決定 骨皮道人





弘済医院

痛不眠症、便秘利尿、胃のこり、腰痛。 動脈腫化症、腸陰血、中風、血壓亢進症、脳が 動脈腫化症、腸陰血、中風、血壓亢進症、脳が

來適應症

海貴來定價







大連代理店 大連市若狹町二丁目四六

際 大工四 二七四

元

祉資

或

王

口

五〇二 行

B

浦

時的の血脈低下痢ではあり

滿洲日報

廣告部電話四四九

番

國立燃料研究所實驗證明

構造堅牢

操作輕便

凡曲 门豆

裁優美

東京工大

淺川博士推獎

完全燃燒

放熟絕大

燃

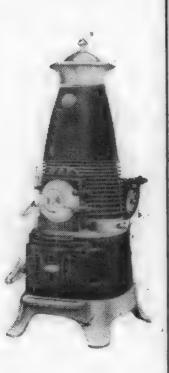
料半減

東京九段上九版ビル 東京九段上九版ビル 東京九段上九版ビル 東京九段上九版ビル 振着東京一九近著 を必備ニニニー フィ社通常製験 御をスパハハハ 明ノ 「無傷急産 計節 人性性 デハ 仮にニ





すなら定評ある H **學勢伊連**



月經催進劑 月經済にシストメンジン全・代償性月經竝に乳汁分泌障碍等に處方する・代償性月經竝に乳汁分泌障碍等に處方する。 内服(錠劑)或は皮下。筋肉注射さして…………… 生殖器官に光血作用を呈し、流血作用を増し又胚胎腺の 生殖器官に光血作用を呈し、流血作用を増し又胚胎腺の を正調に復せしめ月經を促進す。 週の女期機子

效め

到田のつ……



大連市越後町四一番地 致本秀治耶 元 九番



强壯

男は十日午前七時四十分響の外車にて来速の後定

大蔵男あす來連

男 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人帽編 盛武 村本 人剛即 地番二卅四剛公東市連大 証報日洲講社會式株所行發

合省猛烈な反對氣勢

十三億に達する新規要求に東京特電九日發』略和九年 内閣重大危機に陷っ

非常時國策と政友 **黨首脳部で態度を協議**

を地の親祭を終へ八日朝來奉松井 た松井鮮護士以下六氏はいよ!) た松井鮮護士以下六氏はいよ!) 派遣されて湍洲各方面を訪問する

の設備不完全

減反案を保留し

籾貯藏案 を講究

減反案は

屋横衛振移省は勿論大 あだけで其骸飾な點においては宮園通』米穀鵬急野菜一駅飾に減反の趣旨に意見の一致

焦り氣味の農林當局

かさな来議會に提出せらめるにつったのみなを来議會に提出せらめるにつったので、右続は結局を 重に終るのではないかさ一般に見 をれて居る政府監局さしても観度 をれて居る政府監局さしても観度 を対 概當各方面から反野あるに鑑 を表する。

の貯蔵家の成家を急ぐこさ一千八日桃谷村に釟着したので、如く演反案を後廻して爲し一禁間の漫山を占領し、湯玉鷺町 八日桃谷村に到着したのでこれ これら「陳合軍の北平總攻撃に對して、吉鴻島の職合軍は出てぬた方振の沙川航にはこれら職合軍の便を、北平攻撃の態度に出てぬた方振の沙川航にはこれら職合軍の便を、北平攻撃の態度に出てぬた方振の沙川航にはこれら職合軍の便を、北平攻撃の態度に出てぬた方振の沙川航にはこれら職合軍の便を 際現れ日下盛んに順優とついうり た飛舞しその陣地に埋めるが消滅にはこれら駅合軍の便衣 日本軍の飛行機は方振の沙沖縄にはこれら駅合軍の便衣 日本軍の飛行機は方振った場合である。

恤建省内

部地區は

怡も米國

租借地の觀

方、吉聯合軍け 北平を總攻撃

過さ共に消滅で して行く筈で

北鐵抗議の 廿日頃送達

は今頃の北級側の抗に返附すること、な 例午餐會を社員俱樂部第二食堂に満級社友會湯洲支部では十一日恒 こ場合初めて軍備の縮小ななす一、右期間中遠反の認められざり。

機能の変形がなら福建省龍巌を中心とする三十哩の地方を十九路軍飛嚴地借地の親がある 『上海特電九日發』 厦門からわが紫ლ脈に達したる情報によるさ、米の所に

し十九路軍及びその関係筋

に翻譯、來る二十日ご

滿鐵社友會午餐會

米支密約による諸施設

視聽を集める

各種重要問題

つて協議の上延期する一、共後はシムラ食商の応一、共復はシムラ食商の応一、共復はシムラ食商の応

來た、準銀の總動員、オープン・なるべき金融問題が愈々登場して

産業界の回復につれて共原動力とアメリカでは優勝された如くに

ニラと通貨政策

村ノイラートごの る、これは勿論事質上ドイツの軍

九尺二間內閣苦懷增大。

のいわる、全島治安では共産黨の暗筆が

を 最近ヨーロッパで 最近ヨーロッパで

ふので、つまり

が一なる新局面が展開する新局面が展開する新島では、現場の東が見書が

(風防)が立

 \Diamond

が立たす、こちら立てればかちらいたすり

\Q

が題からんの

五相食事、写護な子限り、

関係の機構が閉口して、

豫算重役會議 けふ鐵道部事業費審議に着手

るため宇佐美穂局長は銀路穂局観點。滿職本社の鎌算器器に上程す

▲ゲン氏(同販賣部長)同上

そしてこの詩曲!

五二八二九

劈頭より空氣緊張

浸信局異動 (九日附)

記書水岡治

 \equiv

(219)

副に満たわる

したこはいへ經理部の意思は様。延びることなる手した、しかして機種方針に一片づけんとし 港灣の四百萬園が三十萬園さいふ ら.... しい いまる か以て 味噌の五百六十萬園が僅か四丁萬園 以てせず緩遊部長名を以て 味噌の五百六十萬園が僅か四丁萬園 以てせず緩遊部長名を以て 味噌 意は野熊より緊張し 鑑さしての正式の意見であると 説明してゐる模様で 至常であるに擁らずこの事代は でであるに擁らずこの事代は ために觀遊部では大 名を以てされたりので、北郷さ 平高であるに捕らずこの事代は北たる学督機の名前を以てされるが なされた抗議文はルデー管理局長のあこさ、なつた、師ち北嶽側から

て計畫 館において行はれたが受験者は一 消滅の暦音登格試験は九 山內電々總裁 滿鐵歷貝登格試驗

補沙河口

鐵道の眞使命を

民衆に理解さ

す

局長

有田

荒木

滿洲國

定を以て就任挨拶を乗れて事業を伴ひ十日大連出養、二週間の 事業巡視

音表橋局 表表 長心得

和出博三

新任警部補 九日警務局發表

平野

での運動

しめ各種印刷物の 関東野野務局では九日午前左の八

に、金をあげやうさ思っただけだった。この婦人 「何しなさらないで、ごう しろおどりへした難で客へた。 老人は んな聴きが持ち上るのです?」

「それならば、なにも、こんな願いたら好いでせう」 この老人な、簡れむやうに見つめ 「わたし、これで失惑しますわ」

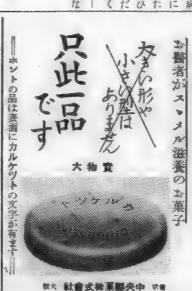
約束してるこでがあるので お受け取りになった?

室内に飛び込んだ構臭が、いき のです?この奥さんさではないがなりぶつかつたのは、今丁度部屋 ていや、その奥さんさなさつたのなりぶつかったのは、今丁度部屋 ていや・」 途職に、椅子の館に、たなって、室内に触れ込っ 二人は、はずみを喰って、折雨

いったやかになって で、そつさ所の外まで来てゐたの際があまり大きくなつたの 言いながら、飛び込んで來たの

が出たのですれ。この奥さんに 言ひかけたが、晶子はそれを

要なこさをなさるのですからでしますがある。 ん、ほんさに、御免な 少し綺麗な御婦人だ



御存知ですか?



素晴しく

いつもナッシュの氣高い姿です一段と光彩を放つてゐるのは一段と光彩を放つてゐるのは 缺くべからざるものです 紳士の威容を整ふる上に今やナツシュは 典態優雅な車体! 店理代標本日 地番四四通和大京新

まさか さ思って、立つはなかったまさか さ思って、立つはのですけれど、 やく、取り能れた表質を取りつく もう立ち上つてゐた。彼女はすば 品子が言つて居る間に、文子は 店摄取餐販 所張出會商車動自美社會資合 所張出社會資合谷岡天澤

釋然として語る

…その後の山田辯護士

洮南ミ鴻興の附近に

神經痛(科學

九日午前八時三十四分縣家屯縣と 第三本線建設の監禁第三七一列車 第三本線建設の監禁第三七一列車 で優れ右大陸部線が入事で當に図 である。

野寅市

語るない。右について井上總統局長は

から十四日まで杉山航空本部長統一宣舎において新京花輪司法領事よ に乗りまた同夜監然家出してて智は空草の総統を集めて融を十日 したが九日天野航護士は陸草東氏 たが本月四日午後十時頃一氏自然 東京八日養國通 特別航空兵蔵 直に領事館に入り種々打合せたな 時頃子供二人を置いたま、家出り

巳むを得す滅給されてゐる、滿場

十日から舉行

「新京電話」映兵監事件の思察表 事は八日午後七時半別車にて来京 事は八日午後七時半別車にて来京 事は八日午後七時半別車にて来京

時頭子供二人を置いた

田口畵伯個展

海務局調査

船底に落ちる

十四番バー

ス緊留中の神洋丸楽

大増加加州の検疫

ま、端宅セナ、十一歳の定難計は 歴歴来連したばかりで土地不製内 のため迷ひ子になったものさ大連

十八隻(九六八、1

驛警手が奇禍

計温体ミン

計會名會并進 日丁四町本額本日東東

正札販賣、返品返金自由、安心して御貿物が出來ます所套、スポン、婦人オーバ、男オーバ裏所掛、瀕皮、虎皮、豹皮、アストラカン皮、防寒帽、手袋、銀キツネ、綠キツネ、十字キツネ、白キツネ、赤キツネ、銀キツネ、緑

皮毛股皮

職を通過中操作院電の入口に報き 配と近道せんさして報倉場下の暗 を通過中操作院電の入口に報き

に哨歩の体身

人妻が家出 情夫を作り

自殺の原政並びに身許はなく不明を受の原務三重線であると中は三重線で、まる一なるのみである。

市内敷島町三番地索地鉄一郎氏方の同人郷今野定雄で一二ば八日午前の同人郷今野定雄で一二ば八日午前れた鴻電運動會を見物に行った

少年が迷ひ子

を見込みである。そして満洲国際 を本解に繰入れてあるので がなくな

ひ演習の幕を閉ぢるこさになった

警視廳から

身柄受取

兩刑事が來京

格、馬瓜捜査及び作業でな行び十

へ會社が善處に努力

燐寸を弄び

軍出航したが匪賊は逃亡

二少女燒死

大根番小屋で

申込方法

十月十二日限り

(詳ロは本計事の問題話六三四八番へ)

本社事業部備付の(こか)に記入の上申込むこと

一小間(一坪仕切)金三圓五十讀也

ます、半年も左部に佐り熊修します、動って御歌加をだふた。また、歌年歌歌教者の歌其吹歌さ新歌歌説の樹加に佐りて大連民政署横空地にて開催

十月十五日より十七日まで

厉器 具 展

の事情から高給額のまり引着いで

船中の勝美ご中薗

りの合版を執行され午後身柄を領一つた

フミ子は最近情夫が出來秘かに一フミ子は最近情夫が出來秘かに一種で不居たらしく目下市内に情況を大き回帳とてゐる模様で八日夫夫を回帳とてゐる模様で八日夫と野氏より大連着宛て複巻方順

者が難見したので經路總局地方科では四派沿線への襲來を防止するため一層観客の繁策を憲策中のため送つて來たが同部落民五十名は突通を連続しその系統並に附近調査中である、西山調査既は「本天電話」七日純南の南方線二十支里西鮮力能に脱べスト・愚蠢安生し八日間平街紙蘭機査所に何」「本天電話」七日純南の南方線二十支里西鮮力能に脱べスト・愚蠢安生し八日間平街紙蘭機査所に何」

士同選で九月夜或は十日はさにて 上間選で九月夜或は十日はさにて 上間選で九月夜或は十日はさにて 家族を件ひ 東京出發

『東京九日**妻**園画』 住木斯第一次 『東京九日**妻**園画』 住木斯第一次 近ふべく暗郷中だつたが九日午後 佳木斯へ歸る 動向なみる目的なりて去月十五日と連駆合ケがでは無沙事間の郷命なと連駆合ケがでは無沙事間の郷命なと連駆合がからは大神事間の郷命なと

ンモスの牙を

が、中では大連市機町五十三さ船が、中では大連市機町五十三さ船が、中では大連市機町五十三さ船

六名の増加さなつ

機計九千百六十

大連圖書館休館

行の

日間休館する由

七日午前十時大連を出帆したば

十四名の想訳四萬二

れる専門學校又

戦はざる

5

●サービスガール募集・御希望の方は本人來談下さい●

ころ六十三名の應事者あり、いはアナウンサー三名を募集中の

ら男女が投身ばいかる丸か

本天水金、土 李天水金、土 李天八烯町新井智院內 李天八烯町新井智院內 姚明禮送星 姚明禮送星

アナウンサー試験

秋田船川大火

返品返金自由・古帯道具の

●大好評/曠野の果√後篇・・連日滿員御禮●

(ハルピン 鬱は二十一日の像定で時二十五分東京藤養原地に向ふ 東京で公開する

ハルビン郊外で發掘

6日程は左の如く 人鬼で來達するが

開東州支部では來る十日正午 **較 臺 倶 樂部** 明治大學學

金属。

勇士の遺品を御巡覧

に御参拜

主要機關觀察、夜觀樓戲招宴出席

胸東西訪問

行團員募集奉天賽馬會

兒玉事件の投書を前にして

各地溫度

一五 新京 二三

今日の小洋相場(土時生

予









(御買上の御方様に粗景呈上) 滋味豊かな傳統的特長と氣品を 場大島紬鹿兒島大島紬は趣味と を楽れた織物として愈々御 を楽れた織物として愈々御 を楽れた織物として愈々御 に供します。

大連市 大山通

> 無代進星 「育兒之友」

ロギツケット工熱。 8-A-17

外本機用包



はぐくまれ行く 風を尻目に悠々と 家の

根を卸した

がつちりと

漫速町の 浪 この秋ー冬の流行は炎係統を主調に 海老茶或は海地を主調に 海老茶或は海地等之に次ぎ、機様は明るく上品に自由に輸出された中 がものがこの秋ー冬の流行 英剛製三、七〇も

冬の 陳 於店內休憩室 列 會

選特から 流行ネクタ







中山婦人服宮 文 電話 7543 4379

龍三七十番 遼東百貨店毛皮部

國の

名磋玉石

素晴しい健康見 吹まくる小兒病の

名薬の畑ド

おはまは、自分の言葉に味気な

善鬼惡鬼 山蘆江

(223)

で、それは一時のきつかけで、本 管の事はきつさエレキのためし窓 でればったのないないな事を私はちゃん 皇

思いなして、おはまに同情させらいないなして、お気のであるやうない。胸のせまるやうないに存じます」

たつた一人種りに思ふ良人は、あ「身内はなら、かへる家はなら、

かの危険が迫つて

の通りの人です。

りの人です。の人きさうに見

た人たちです。あたり前ならいやこ人が織つて、お上かられらばれ

れるさ、何心配になるのもならでございます。さう何に





十七百八千九第

金太には、その監が不思議だつのでござんせうか」 の御新造さ が、大連では給木職技女史後援會である(高原鈴木女史) が、大連では給木職技女史後援會である(高原鈴木女史)

でいふのだから、かへすっさん、私はお前さいふ人を

鈴木藤枝女史の

尺八セロ演奏會

來る十一日協和會館

私の縄父のうちでござんしたら「検りさつて了つて、一人でも二人都の傷めに力になつておくれか」のからは無道の鬼儀を、すつかり、一人でも二人をいる。 を記して 寺川出版する (常真は東京が 世)と 様に 勝太郎 物語」で 職在久子「島の 規勝太郎 物語」で 職在久子へ見下セット 横翼車で 町

アビンロコ歌題主み込吹ドーコレ



にす、今すぐに、怠場の用意にか おはまはその時、例の手筒に目 な運命裏話に新奏キネマが 子かた江入 田岡

主 桂歌川八重子中野かほる 菅井

馬逸牧作原・載連日連每大郎一順島青沙 豐部阿 督監



期乞待御

H 封切

愈

新しく生れた 新しく生れた サカエ戦の編 要の待つてねた 生れました 大江たか子 部店に有り)

E津味木名佐作原演主郎壽寬嵐 柄手番五十三帳物捕門右

灯の中の雨風暴篇前

勝太郎物語 映畵になる

こい白面にけだ躍活の後最がれて!場登の門右りつつむり振方久

戀に目覺るか? 親の情けも知らず 因襲に眠るか? し女どな 人生は暴風の中の灯 つた南海子







價は

1

ショ (秘密)

き

"

ブ

付

博多名物水たき

強 致します

を迎へ

014

0

アラメ佃煮 Ħ. 釜日

別

別割

31

入場料五十錢

大連ヤマト

日本書及日本刀の部(監督五十 十月十日より同十三日まで四日間。至午後七時 ホテル(一階)入口(市役所機



清朝歴代皇帝御筆の部

畵

展

コロムビア會社主催 十月九日一夜限り

レコード界の第一人者 於大

場

延べ特別興行 劇

お馴染の『紺屋高尾」讀切口演 日本コロムビア蓄音器會社

商組合 券(一名限り

ンローミ 號臺型提手 1 ロン卓上宣傳教 乞各 口 五拾金 有權登錄商標第二四四二一三號 器型大・ンローミ オヂラ・ンローミ 流交球五式生再

には心ず **電話七七九六・二一八五五番**

食あるた

リぎ

\$

陸里(浪並 勢

電話四六五五

四八六六

入場料五十銭

後 主

全滿洲

藩·音 器

滿洲

國商

標法の

さは体髄であらう。

| 献徳展長が無勤命に於て審定を第一項及び第二項)。

内地各都市で

滿洲市場紹介

廿三日から四旬の豫定で

(日曜火)

H代

異常な激減ぶり

な。 のでは別さして政府交渉はこの一 のでは、別では、日本のの形で、民間 のでは、日本

對支特產輸出は

るものさ見られてゐる

十五億斤を目標

の實情暴露

出席中の同紙合書記長照井長次郎本年度の満洲棕彫館館建るれたが電地漫洲重要物電紙合か代表して

ムラ會商漸次有利

消滅の特権機構その他墨日本方面氏は總會終了後川崎抑頭に於ける 氏は總會終了後川崎护頭に於け

題自體に一つの暗示な奥ふるも ではないかさ思ふ、要するに 可料の如きも原料を安くして安 値に生産せしめなければならぬ でで一萬噸収容能力あ る倉庫が建てられてゐる、現在 なる原めが建てられてゐる、現在 は石炭のみだが追々特重が利用 さるれば便利さならう

整連(袋込四一五〇四一五〇 大豆(裸物) 豆 粕 二二三〇 二二三〇 出來高 二車 出來高 二車 出來高 二車 出來高 一千枚 豆 油 出來不申 高 梁 一八六〇 一八六〇 (上物) 一八六〇 一八六〇 出來高 五車 包 米 出來不申

關東州鹽の將來

肚の探り合ひ

直ちに

濠洲新貿易策に

何工省重 大視

吉野次官を中心に慎重研究

旬日中に見透しがつく

シムラ會商の現在

最近一ケ年間

輸出雜穀

裏日本

十八日は邦人徐で映窓會記

沿線の新穀

大體順當に出廻る

委員十名を選出運動を開始

豆粕の人氣は

依然落ちない

神戸期来 「限 三克 三元 「限 三克 三元 「限 三克 三元

東京期米 前場所前場引

川崎埠頭は立派だ

八日歸連の照井氏語る

木村組代行決定 朝鮮運送の大打撃

高等の八千種、大麻子の四千種、 満奏の八千種、大麻子の四千種、 満奏の八千種、大麻子の四千種、 には十五萬種の減少さなつて 同前期年度

大阪期来
前場等前場引

が、持金六十銭

ナガナ問題

四日封切・

果鼠

緊張へは現物、先限共に三十六経 (本) 三十五銭買見當であつた (本) 三十五銭買見當であつた (本) 三十五銭買見當であつた (本) 三十五銭買見當であった (本) 三十五銭買見當であった (本) 三十五銭富己供合商状にて當 (本) 大阪三嘉は寄刊共に近物不變、先 (本) 八下三二十六銭 (本) 一十五銭富己保合商状にて當 (本) 日本 (本) 日本

用になるさ御便利で経済ですードフアン優待ですードファン優待です

衣笠貞之助の演出

定期晚合高(松 和) 定期晚合高(W 八) 三一六一軍 五六軍 五六軍 二二軍 五六軍 二二軍 五六軍 二二軍

料解監チービル・トスンルエ 金き、とひと君 二 ※主「エリヴェシ・スリーモ ※主「ルナドグマ・トツネヤジ 十 督監ウナルムW・F

十九明二日間短期

和日より公開

三港の埠頭作業

演、数の二萬二千種演等が目立ち吉豆の各九千種演、小器の八千種

(九 日) (九 日) (九 日) (九 日) (東東) (東東) (東京分元) (東京合作) (東

一窓る)輸出部を各品別に前年の(昭和七年十月より八年九 比較すれば左の如くである(単

の響販に盛つてゐるが、昭和七年 師高華闡税の陰壁に嫌けられて特 師高華闡税の陰壁に嫌けられて特

合花落**数** 計仁生

殆ど杜絕同樣の慘狀

をは一つくの記したついても即

旨な述べる像定ださ

夏秋蠶

西本

0

五分を増加

記述であるのはいふどもない、 日満融品の連

なの 経介な内地の を都市で催す

見書提出の機會を與ふ(第二十八 理由さならた事項は、其の事務の を応ら、勝間を指定してこれに意 べして決定した事項は、其の事務に を を応ら、勝間を指定してこれに意 べして決定した事項は、其の事務に を 整確的が登職の出願を拒絶すべ 離核原題が再審官に対ってする。

むるや否やには疑ひがあり、また

の簡易化な合理的なら

場合には、頭に動動に附すべしさ 場合には、頭に動動にかて帯定を破毀しな

滿洲へ宣傳 製作の発出を巡回する機能に を一気しく空他にあった神経駅合 会の理事起が前退春取引所信託 がの理事起が前退春取引所信託 をの理事起が前退春取引所信託 での理事となった。この旨満

度の物色に魅分手間が取れたも でべきか、それにしてもこの程 によてる同意のため先づ以て膨 がやつさふさがつた線、新情熱 がやっているが、それにしてもこの程 況元旦

朝鮮

大型保険込四二八〇四三九〇四三九〇四三九〇

全朝の定朝は大夏は親参皇 で朝の定朝は大夏は親参皇 で朝の定朝は大夏は親参皇

各地特定發送高 各地特定發送高 各地特定發送高 全國東大豆 二車 全國東大豆 二車

父五平儀豫而病氣之處養生不相叶去の一方では後後の病氣之處養生不相叶去

月限 八0至0 七元000円限 八0至0 七元50 1000円 100

實用足袋卸賣 監

野金典(現物 10%、金 10%、否 10%、否 10%、否 10%、否 10%、否 10%、否 10%、否 10%、否 10%,否 10%,可 10%,

幣別金(現物 10×170 10×170 0×1

天

金票(現物 至 天)

四村家儀奉天滯在中本月六日午後三時間潰瘍にて急死致候間此段謹告仕候追而素像は途中行列を順心來る十日午後四時大連西本順等は常来像は途中行列を順心來る十日午後三

山本洋行

会発通告わり職合会では来る十一 の定八日この言演派より輸組職合 の如く新京取引所信託事務にして 諸洲輸入組合聯合會理事長は150報 輸組聯合會總會

出來高(鎮期) 四十八萬剛

」日より結果り新数の出題りは加 を変態に増加しつ、あるが、仲秋 を変態に増加しつ、あるが、仲秋 を変態に増加しつ、あるが、仲秋 を変態に増加しる。あるが、仲秋 を変更が変更ないであるが、仲秋 と新豆の比率を増加し密豆出種り と新豆の比率を増加し密豆出種り

別の能をであるが、語してあるが、 に對した活作では

保るやに就き碗 識することにない。 を開催するや或は紙上連合に は、正式決定方法に就き臨時 に対き臨時

中央館

新版公認証落商賣

後援ビクター

第一元枚 [12](左侧金 [1元枚 [12](左侧金 [1元枚 [12](元为 [12])

印刷般

日

きのふ新京の打合會

ル大統領聲明の

意を安んじ業に服

非營利會社

資本三百萬弗で設立

大の通り決定した。 一十月二十日東 一十五日東京發 一中フスク在動建 本師建領市島田 正書記生は緒方機領事と共に夫々 といっフスク在動を命ぜられた選 でフスク在動建 をいって、スクを動を命ぜられた選 をいって、スクを動を命ぜられた選 をいって、スクを動をのがであれた選 をいって、スクを動をのがであれた選

定準備

社報日洲滿龍

:滿に北鐵奪取陰謀あり

る北鐵蘇聯側幹部の逮捕は北鐵奪取の陰謀にして北鐵賣却交渉を阻害する職跡所は去る九月二十八日駐日ユレニエフ大使な通ご慰用外根に對し

譲渡交渉にも言及

て同鐵道財産を没收せしめることが必要であると述べてゐると、地でゐるとを基礎として滿洲北鐵に對する個人債權者を動員して債務支拂の要求を爲さしめ之を基礎として滿洲を過べ同鑑賞に手入れと蘇聯部の選擇を拠せる無論の内容を機識して居りなほ九月九日時の三報告書では、れ等震響の成行可令官に宛てた報告書と稱するもので右によれば九月四日附繼告書中において劉鴻戦中会館は北點湾戦の可夷した右の内三通は菱刈開東軍司令官の外務省に宛てた報告書、殘り一通は日本領事の表記に右の内三通は菱刈開東軍司令官の外務省に宛てた報告書、殘り一通は日本領事の本意願が右陰霧を中止せれば蘇聯政府は此の陰謀を影響べして會談解析明を爲したが八日夜途に日本鯛の懐秘報告を綴する本意願が右陰霧を中止せれば蘇聯政府は此の陰謀を影響べして會談解析明を爲したが八日夜途に日本鯛の懐秘報告を綴する

北鐵交渉停頓の生んだ一 一錢五厘

不可侵。を考へ 大藏公望男震語る

たが終五日間徹底の像定である る限りこれは考へればなるまいて北線がソウエートのものであって出線がソウエートのものであってい、問題は北線と關係を有 杉村公使着平

四萬四千人、合計約九萬 ては城内約四萬六千人。

新京特別市政に

市球の潜水砂で離るべきものは との選手を見たさいひ得る、風都 に更り本市は重に風家政治の中 ではなった、中央は本市を以て能

市政度般の職者を語つた。

【北平九月景國通】※平中の杉村 「変むべきな力談し種々無談を達 「で進むべきな力談し種々無談を達 「た倫局公使は二三日常地に確在 の上南下の後定である

部會並にこれに引継き関かれる 軍。備。均。等 ドイツ 重ねて聲明

腹側は敷目前夜門紫 な監察之に對: 【北平九日養國通】傷寒附近の匪



『沙汰わり、天皇陛下には御正装を召さ動局總裁を始め一千二百六十四名の文武動局總裁を始め一千二百六十四名の文武勝一等親授式

日支關係の好轉を

希望するは當然だ

蔣公使神戸で語る

性 要 旨

武力的解決か

吉聯合軍ご北平當局

不國大型飛行機 三千三百哩を一氣に翔破

印條約延長取極 外務省より發表

入せらるゝ物品の開稅を据置く

外用薬デ -肺-氣管支炎

に決定し十一月一日より質論する 奏論出禁止嫉ભを厳止し輸出抵力 を輸出禁止嫉ભを厳止し輸出抵力

巻透性サリチール酸グァヤコール剤

を緩和し、過剰熱を除去するため、患者をしてテラ内服藥の如く胃を害するの憂なくして……咳嗽刺戟 過剰熱を除去するため、患者をしてテラ

て經過は迅速に可良に赴く の後貯溜すること少く、貯溜するも漸減し、體溫も減じ テラピアを一日一回づ」交換することにより、

局所に展布するのみにて患部に深く渗透し、病菌の 活動を減殺し、林痛及び刷痛は短時間内に消退す。

ピア展布により自覺的に非常なる爽快さを得せしむ 濕性肋膜炎の如き、滲出液の多き場合は先づ排水して後

ピアの展布により疼痛去り、安眠を得せしめ、且つ翌朝夜間に劇痛を訴へ、そのため腫腫し得さる如き場合テラ

込むこと少く、良く安眠を得せしめます。寝る前に一些を服ませて置けば夜中に咳き 百日咳には特に良効があります。普通の咳嗽は勿論のこと、あの頑固な 骸の如く甘いから害んで服み ミッシソ

第五次共匪討伐

当聲のみか

巧妙な共産軍の對策

"出來得る限り"

輸出を統制

日本側の對印回答

カ月の宋晩園山か た郷撃だけで終るらしい 北天部優を続行す ある。かやうな調ぐこの部化しまれたが優を流行す ある。かやうな調ぐこの部化しま

滿鐵豫算會議續行

日十

が五十二三百萬園に筆してゐることは来応だが現在の清澈の手持資金 は来応だが現在の清澈の手持資金 が五十二三百萬園に筆してゐること

地方產業開發

于芷山上將訪日

大演習陪觀を兼

新京は政治市

大の変態をかれて挑談に購見の後間、本では加盟された軽減。 中 課題並に疑惑都被股股を幣間、加盟の送速を受けた、 中 課題並に疑惑都被股股を幣間、加盟の送速を受けた。 中 課題並に疑惑都被股股を幣間、加盟の当期鮮浦洲各地には、 中 課題並に疑惑都被股股を幣間、加盟の当期鮮浦洲各地には、 一 日午後三時はさで新夏に置い出費 。 一 「他盟」とで新夏に置い出費 。 一 「他盟」とで新夏に置い出費 。 一 「他盟」とで新夏に置い出費 。 一 「他盟」とで新夏に置い出費 。 一 「他盟」とで「他盟」とでは、 一 「他盟」とで「他盟」とでは、 一 「他盟」とで「他盟」とでは、 一 「他盟」とで「他盟」といい。 一 「他盟」といい。 一 「他」といい、 一

沙河口優勝

那道の外交官で際口領事には最も

駐營口英領事

是城市

大豆低落

でく、師ち合献八千二三百萬園の でく、師ち合献八千二三百萬園の でく、師ち合献八千二三百萬園の

月

+

年

でないまいる状態で しないまいる状態で しないまいる状態で を変

協定線を挟んで歌鳴せる開軍の軍 に養々進められて居るが一方体戦

央軍改編交後は何限数方

薬の通りには行かぬので、必続に現はるゝものは、決して

は響がからも正式響可がある響で に土木工事を進めつゝあり、近く に土木工事を進めつゝあり、近く

討議事項

は単に残治都市さしての登成を助けられてある。 して地方膨製開発の成果は實際がある。新 がけられてある。

縣參事官會議

寒天省公署において開催する駆動 【寒天電話】十月十日から三日間

"大同林業"問題

大連商議でも協議

とすが配出したがその後連貫行職反對により暗礁に乗上げたなどの

朝鮮總督府 全部承認

羅津樂港設計 九日午後常時中から満州館で坂西川八郎氏さ午歌を共にし氏を中心にして時間に関する座談會を開き、東に午後三時から継ば聴総空に敷えている。 紫の特米に関しその議院を続き同席吉博士から議溯における青蓮工

を建すこさ、なつたが大連施工会

車內旅券查證

大震智暗聴のため渓鉄をかい会社

大統督が象記より率く終了と総つ大統督が象記より率く終了と総の

張中將出發

海軍定期異動

大田本 (株物が まま)

日本品に重税 になってあた▲

豫想顏觸

济源林八田正副總裁以下

委員會

奉天地委初

曹達工業の講演

いつたため一時は朝鮮總督府の

滿洲商議聯合會 提出案審議成績

機闘へ援助

獎學會陸上競技

領前秋月勝つ

海洋直通列車運行により**間行撃**に 「本天電話」 浦川県では京職線の 一月二十日頃の鎌京に向った同地にてで監地出養新京に向った同地にて

棉花市價指定

十日より實施

期する筈だから、英国政府自までに新協定が出来れば

したは疾電間の微妙な関係としては疾電間の微妙な関係 綿糸强含み 麻袋弱保合

サ根ラチョヌビ 各地 二九八四五五五八〇〇〇〇〇〇〇 名 A ラ大大オ昭 チグ鬼写けれ ロピアアア ローララウレ 豆豆レレレ 產 珍 物





ら水砂塵等の使入す 以上あります で耐久力は他車の なつてゐるため外部 部が精巧な防水・ 山口の目襲車は各組

の三京名に御往意下さ マルワイ号マルワイ号

際はマークと 際はマークと から御求めの

「海天電話」北崎震災管理局次長 に整幅とた現準天振戦事務所是古

古川達四耶氏

三三四分 發見

木虎之助著

三元人

理事長

ママ 水 水 水 水

日滿文化美術協會(東京)

日本福及日本刀の部(監督五計) 期日一十月十日より四日間 會場 大連ヤマトホテル 『大連ヤマトホテル 『大連やマトホテル 『大道』

清朝歴代皇帝御筆の部

畫展覽

五品弱保合 况完 Ħ

市

(版二第)

事務工業の範囲に施する

は中間を折衷するか等々、問題れの生産費を規率さずかか、又

を見ればならの。勝つて内地のなるから、常然或る程度の引下。 なるから、常然或る程度の引下。

0

をならば音ほり成しき一本の生 を表れ入りの無ぶつた人の死を待 っだ動ではなく。 診断であり、

にもなり、又称の此の供覧にも花ならば暫ほり成しき一本の生

満鐵の新規社債

一萬圓見當

◆上野は炭に知らず、一般や通家をさしては多くの場合多大の響を変さしては多くの場合多大の響を変されたるものは、遺骸の然、髪されたるものは、遺骸の

非常時、花より間では正に事美な地

十一月に入り募債か

に來るもの 特殊企業の

商業戰線展望

仕立賃

総議議議員八・○○─九・○○

の冬物仕立賃

講習所賃金

1.10--1.50

合古

- [10]

◇・・色調は一巻

今年は毛皮が

冬のショ

飽かれ氣味

地質・色合共に薄く

日

お母さんの責任 風邪 ひきは

なるべく三寒、四温を利用し 戸外運動を奨勵

相場、公設市

"花嫁美」は お仕度の御注意

三三六则四五三五三 -三二三四豪二四四

◇…地質

へました先づ實物を店頭で現品は全国一斉に配本を終 概論總說篇

を対象とし、文壇全野の機構の雄大にして、古今の全典籍今回の「文學講座」の機構の雄大にして、古今の全典籍を可行が契機となりて必らずや新文化であるばかりでなく、荷くも我民族の將來に思を寄するであるばかりでなく、荷くも我民族の將來に思を寄するであるばかりでなく、荷くも我民族の將來に思を寄するであるばかりでなく、荷くも我民族の將來に思を寄するであるがあった。

改

見よい此堂々たる執筆

第三卷 和歌文學篇 和歌文學篇下 十日記篇 文學

演劇戲曲 理化學用等一版實際 後班 大連市恵比須町メナ 演 電話大連六九四一番 大連市山縣通り

日東樂化學研究所

國文學空前の偉容!!)三百九十七項目、)

我日本民族の生んだ文化、藝術は世界的に如何なる地では、實に非常時日本は、日本そのものの剛壮、高雅なのは、實に非常時日本は、日本そのものの剛壮、高雅なる本質的精神をシックリ體得し、確實に我民族の血と肉とに融合同化せしむるにあるを思ふからである。本社は嚮に「日本文學表集」を刊行して特權階級の文學を我民衆の手に取りもどして全國民衆の歡呼に浴びた。とれ以來或は「短歌講座」「現代短歌全集」「俳句講座」等を我民衆の手に取りもどして全國民衆の歡呼に浴びた。本社以來或は「短歌講座」「現代短歌全集」「俳句講座」等を我日本民族の生んだ文化、藝術は世界的に如何なる地である。

自動機械吹製 時代は去れり 食料品容器に鉱力罐の ジャム、 会式株子硝洲潘南

厚 司

沿線各地の海用命は 國際 電話三五一番 最寄店所?



△阿吾地興

北鮮鐵道沿線

る人家百四十餘月八百四十餘名の小都落である
へ九龍坪縣 商北、山に園

小部隊である に増加し大正十年六月開港場さなる人衆百四十餘月八百四十餘名の さ共に内鮮人の移住し来るもの慎以流江之戦れ南下蝦基に起つて居 に襲威し大正元年襲戦の総路隊が

中間の総報道

安食三郎氏

備江の江口西方に突

佐々木洋行

三安会三郎氏は六日帰暦で急遽を動す 一定田野原保を観察の上七日大連に南 を変え三郎氏は六日帰暦で急遽来報 を変え三郎氏は六日帰暦で急遽来報 を変え三郎氏は六日帰暦で急遽来報 を変換に動きの単定である、今回来 変換行に騙する打合のためで、ドイ では激調所を観察の上記されて、ドイ

天然の良港雄基港

数年間の素晴しい發展

泌尿器科を新設 輝く日隈小兒科部長

『族唐』 腕束膝趾腕骨にては強木 響きと臨床上の破気を挙げた者は であるがあめ特に午後四時から同かる。珠に同博士は滅刑に多き小っては此上もない総首である。珠 児童気では逆尿熱科は特殊の患者 人であることは起腹臀院の誇りでであるがあめ特に午後四時から同かる。珠 児童気を以て駆破を受けた新娘の であるがあめ特に午後四時から同かるさ共に市民は大に心強を繋げて新娘の であることは起腹臀院の誇りで かる まに同博士は滅刑に多き小った。
「ないる」とは、
「ないる。
「ないる。
「ないるいる。
「ないるいるいるいる。
「ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるい 、脚さなった層体長從来通り渡哨後 ・脚さなった層体長從来通り渡哨後

被召集歸休兵の為

金一千圓也を寄附

(吉林) 感激の我へ子清水ウメ(**) 目下鞍山に止めて、 一般毎に冷たさか増す今日此 女は妻ヨシさせる観悠の家出、車天富士町三香地 し渡浦した形は フ編岡縣八幡 フ編岡縣八幡

人妻、藝妓の宮

岡田忠彦氏

奉天に奇特な美談

观察後松井辯護士談

設中なりと放伏見宮貞愛親王殿下と金州」金融階級窓ノ稿に続て越 種馬所視察

四分野州戦にて跡紀の途についた縁に下車種馬所を観察し午後五時屋局長局行八日午後三時三十分東門 は、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、一個などは、

强力治**淋**新藥 原土福原正義先生創製















議長當選

満洲景氣に乗じて

朧營業續出

無許可開業で市民に迷惑及ぼし

奉天署弾壓に着手 【集】 謝尽、献齢是ならびに食い ・ 一本小學校に招集された、出席書 ・ 日本小學校に招集された、出席書

移轉敷地決まる 來年度豫算に計上新築

満洲國の法制改革

急いだら失敗する

初額維順地委

珍客を迎へて

「無順」今回の吹邀によって密選 とた課題の新地方委成は来る十二 三日城第一回の職合せ委員会を除 能する像定であるが、この會議に 於て正職職長の選舉が行はれるが その人選については各方面の意見。 を降くに、議長は宗西前議長、融 が提は帝西前議長、融 を降くに、議長は宗西前議長、融

宿舍の悩み

産金調查隊員ご鐵嶺

組預金 能により二十五日より實施され

金剛子を左の通り引金融組合は内地東西

は海郷野院に於て、二十七日は新 二十五日 居留地、附屬地中央通 二十五日 居留地、附屬地中央通 は海郷野院に於て行はれる 一十五日 居留地、附屬地中央通 は海郷野院に於て行はれる 日野華居住者 四種症が受くべき者は第一期、第二世の 無確定に不善感の者、第二期種症が受けなりも者、来た種症が受け さる者(但も生後九十日未満の者) 二時までさら二十五、六の二日間 等, 亂石山居住者

大事 所述 (1) 大事 所述 (2) 大事 (2) 不要經驗 (2) 大事 (2)

成次用の、電七四三二 囊

をかいや電五四三七番 電話二二六四五番

日底町たどまや電六六〇一番一番一番の製造の電気入 御使造富士へ

早川協科院大連市西頭九三常盤橋附近大連市西頭九三常盤橋附近

無板鈴木式、調筒式 東連川治町七協和洋行 東連川治町七協和洋行 東が東京では、東を 東が東京では、東では、 東が東京では、東では、 東京では、東では、 東京では、東では、 東京では、 東京では 新發明中野液

譜さかい本店

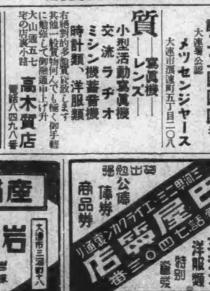
一門札 瀬戸物へほり込み 配の関係質店 第二一六〇四

地金銀白金事門賣買本事門賣買大事が出来通五五余総三清洋行会総三清洋行会総三清洋行

西公園町六九 電話八二〇三番

女附家 添政 中婦婦 住込派遣

梅毒・淋疾・婦人病一切・神經痛・リヨフッテ・痔疾





モミ治療お銀の方は

一時まで履歴

卸出立衣裳

4人・複雑組鉄場店西 に町河三市連大 セガバナ級等

の間域ニナル軒を二の間域ニナル軒を二の間域ニナル軒は観測部での数型には緩緩公司の数型には緩緩公司の数型を可能は緩緩の一つ数型を引きませる。

逮捕さる

順縣の

强盗

満日案内

集金を横領

にされた、奉天署では野瀬な捜査 派された、奉天署では野瀬な捜査

文字、クリーム ・ バタ、クリーム ・ ボマンチュウ ・ 連続街銀座通り ・ 連続街銀座通り ・ 連続街銀座通り

大橋町 岡部紹介所 東三四九〇 東三四九〇 東三四九〇 東三四九〇 東三四九〇 東三四九〇 東三四九〇

瀋海奉山線でも

スを運行

日

鐵路總局にて研究

藤高女運動會

陸上運動會は八日午前八時半より「陸上運動會は八日午前八時半より

關稅引下げが

唯一の密輸防止

全浦商議聯合會に出席して

瀬之口會頭歸安談

女東に設置か 蠶糸檢査所を 福井、岐阜兩縣業者來安を機に

(可謂於馬斯里里斯)

實業部に設置要請

來格糕帶産難提に影義の勢力を練。音所を諧翫して輸出能を醒格に徹。搬客所踏勵を要離するとになってれた天常質響觀、清纖でも今春。の中心市場である安東に棒魃春椒。代表と共に奉天者及和夏雲觀整點出の増加に佐つて前途を採業練。雲融代表の來安を傳輸に清消棒鹽。近廣安東棒整融組合民に内地樂。在本天常質響觀、清纖でも今春。の中心市場である安東に棒魃春椒。代表と共に奉天者及和夏雲觀形。東中國殿の規維契書、標。曜日清桂監製者との恵見が一致、「安東」南清洲の特美である棒鹽。つてゐるが、線維樹物の本場であ。 高し起賞の献上を響ることに安東」南清洲の特美である棒鹽。

の善戦も空し

奉天北斗遂に制覇

益 全滿軟式野球戰

ゆる爭覇 奉天滿洲國側競技會

『多天』南清中學堂の秋季隆上大 運動會に八日午前八時半から者、 下立谷學校の選手及中學堂里徒一 が三十八起で優勝し父中等學校順では第二工科中學校が二十四點ででは第二工科中學校が二十四點で

ル」常地領事館初

丘の上で大奮戰

錦州飛行隊の運動會

メをは

選手權大會

對鞍山陸上競技會 や観察約五千年後

に脳中の脳記と脳話を以て埋めたものだ。 一般心の波 讀を期待する!!

たるを禁

入角岑生

するな



を署る

的 白 香井

新揭載 現代小說

全滿弓道

年秋本学院では、一年年本のでは、 ・別が大学院では、一年年より年 を表現である。 ・別が大学院では、一年年より年 ・別が大学院では、一年年より年 ・別が大学院では、一年年より年 ・別が大学院では、一年年まり年 ・別が大学院では、一年年まり年 ・別が大学院では、一年年まり年 ・別が大学院では、一年年まり年

勿ならざる苦心蒐集にかるる

竹田

宮ヶ宿で除幕式興

計 383712562

對京鐵定期一回戰

共匪化し行く

が付住機の講演あり御正常十三日に午前八時宗祖入滅正展の法要を行び同日午後一時より法學践教あ

灸療根辭

國防團體

生徒募集際發行發

英和タイピスト學院英和タイピスト學院

席

物

中用使 (各案探贴灸) 許特

生る

菅原のため

武專惜敗

DHDK 本日に限り

午後六時開場

小磯軍司令官代理が參列して

民衆ピ婦人デ

工業博物館で

業知識普及に

語行る前

大野氏押送

保险

敗魔の

最後

新義州の轢死體は坂上

寮坂上高三 うさして観彩されたやうに襲ひ自の歌が帆襲 脱念しそれでも薄ちた帽子を拾しの歌が帆襲 脱念しそれでも薄ちた帽子を拾し

鉄座記念祭

が新京電話 | 腕兵腕事性の大立物が新京電話 | 腕兵腕事性の大立物を非被受取りのため八日来京大野炭雄氏は九日午後十時新京観大野炭雄氏は九日午後十時新京観大野炭雄氏は九日午後十時新京観

の通信にはく 鏡 セ

特約店募集





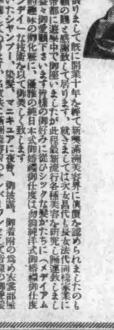




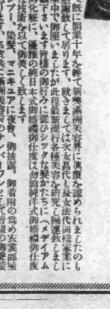


































何時「」しよに飯を食はんかれ」といきでは繁成の手をゆるめない。 では、 で高く酸馬の手入れ類りなり 一方のでは、 でいる。 でい。 でいる。 川柳時事吟

(日曜火)

幸促

日

てもいひ残した、さいふのごう

「ごうだれ、一度晩飯でも

んは三輪の松

百九十二歲人二風、四百九歲人四風。 來適應症

合洋

心悸亢進症、質 本

弘済医院

神経痛らてでチス

國立燃料研究

所實驗證明

構造堅牢

操作輕便

體裁優美

代に於てこれ以上完全な最高ストーブ界の權威

がありませう?

東京工大淺

川博士推獎

完全燃燒

放熟絕大

燃料半減

滿洲日報 廣告部電話四四九

佐久 東 王 聖、大 本 本 一 会順有名頭店にあり 存住 名必集ニニーー フズ社道教教教 注 無文スへへへ、注 明フ の海標念 章 記節 人性性 テハ 宛にニ 番

て学身不自由もある程度ま

されるのであります



州

浦

月

「止せやい。そんなよしみつて

高血壓の

腦溢血豫防の秋

動脈を軟らげ

月月 經經 痛過

シスト

*

ンジン

市日本機區小西斯·島居。三共 武田長兵衛衛信·新斯信·東京 計畫代灣店景慶元線或會計

哀れは知らず

かくて一つゆ

赤玉の秋ー

は

老體を護

る

娘物言うた(台

さころで、たうさう速見さんに確しすると或機、三輪が電車から降

郎

畵

(6)

まつて

「僕、親父の遺言ださいはア」

劑製草海

痛いめまれなど

オロサン総合新期は現代醫學の定説に

これは動脈硬化を治療し血感

す時です、高皿製は職盗曲の 動場では 最高性の人々は 観察器でき の人々は 観察器でき

治淋劑。權威

内服錠剤の併用

一輪は縮みあがった。

勉強してるます





をら定評ある





全,代價性月經並に乳汁分泌障碍,月經困難,月經不順,月經過少:



效め……が除く肉の患!

新来特許 No. 109311 新来特許 No. 174169 新来特許 No. 123583 速度發錄 No. 55071 途底發錄 No. 55071(1) 速度發錄 No. 55071(2)

高匠登録 No. 高匠登録 No. 高匠登録 No. 新来特計顧 No. 新来特計顧 No. 新来特計顧 No. 新来特計顧 No. 新来特計顧 No. 意匠登錄顧 No. 念匠登錄顧 No.

大連代理店

大連市若狹町二丁目四六

替 括 大 五四 二七四

經催進劑

呼等に 處方す

元 祉資 川 П

際

强壯 ぶどう酒

